

平成22年6月2日
大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課
課長 小野 暁史
課長補佐 後藤 敬一郎
担当係 月報調整係（内線 7476）
（電話） 03-5253-1111（代表）
03-3595-2813（ダイヤルイン）
（FAX） 03-3595-1670

平成21年 人口動態統計月報年計（概数）の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結果の要約	2
2 出生	
(1) 出生数	4
(2) 合計特殊出生率	6
3 死亡	
(1) 死亡数・死亡率	8
(2) 死因	10
4 婚姻	14
5 離婚	16
統計表	
第1表 人口動態総覧の年次推移	20
第2表 人口動態総覧（率）の年次推移	24
第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別	28
第4表 出生数の年次推移，出生順位別	28
第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別	29
第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別	32
第7表 死因順位（1～5位）別死亡数・死亡率（人口10万対），性・年齢（5歳階級）別	36
第8表 人口動態総覧，都道府県（19大都市再掲）別	42
第9表 人口動態総覧（率），都道府県（19大都市再掲）別	44
第10表 主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対），都道府県（19大都市再掲）別	46
参 考	
合計特殊出生率について	48
人口動態総覧（率）の国際比較	52
分母に用いた人口	52

調査の概要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成21年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成21年1月1日～平成21年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統

市区町村

 保健所

 保健所を

 設置する市

都道府県

 厚生労働省
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

<利用上の注意>

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報 数値：調査票を作成した数 集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 (いずれも前年以前発生のもを含む) 公表：毎月（調査月の約2か月後）	人口動態統計月報 数値：概数 集計客体：日本における日本人 (前年以前発生のもを除く) 公表：毎月（調査月の約5か月後） ※：毎年（年間合計） (調査年の翌年6月)	人口動態統計年報 数値：確定数（概数に修正を加えたもの） 集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生のもは別掲) 公表：毎年（調査年の翌年9月）
---	---	--

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小（0.05, 0.00005未満）の場合	0.0, 0.0000
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。
- 3 用語の説明

自然増減：出生数から死亡数を減じたもの

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人（期間合計）の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数（特殊出生率）に相当する。（実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。）
- 4 この概況で使用した数値は、平成20年以前は確定数である。
- 5 昭和47年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和19～21年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

結 果 の 概 要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は107万25人で、前年の109万1156人より2万1131人減少し、出生率（人口千対）は8.5で、前年の8.7を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、15歳～34歳の各階級及び50歳以上では前年より減少しているが、35歳～49歳の各階級では前年に引き続き増加した。

また、出生順位別にみると、第1子、第2子、第3子以上全てで減少した。

(2) 死亡数は減少

死亡数は114万1920人で、前年の114万2407人より487人減少し、死亡率（人口千対）は前年と同率の9.1となった。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっている。全死亡者に占める割合はそれぞれ、30.1%、15.8%、10.7%であり、死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△7万1895人で、前年の△5万1251人より2万644人減少し、自然増減率（人口千対）は△0.6で、前年の△0.4を下回り、3年連続でマイナスとなった。

出生数が死亡数を下回った県は38道府県であり、出生数が死亡数を上回った県は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、滋賀県、大阪府、福岡県、沖縄県の9都府県となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は2万7021胎で、前年の2万8177胎より1156胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は24.6で、前年の25.2を下回った。死産率のうち、自然死産率は11.1で、前年の11.3を下回った。人工死産率は13.5で、前年の13.9を下回っており、低下幅は自然死産率より大きい。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は70万7824組で、前年の72万6106組より1万8282組減少し、婚姻率（人口千対）は5.6で前年の5.8を下回った。

平均初婚年齢は夫30.4歳、妻28.6歳で、夫は前年より0.2歳、妻は前年より0.1歳上昇している。

(6) 離婚件数は増加

離婚件数は25万3408組で、前年の25万1136組より2272組増加し、離婚率（人口千対）は2.01で、前年の1.99を上回った。

表1 人口動態総覧

	実 数			率		平均発生間隔	
	平成21年	平成20年	対前年増減	平成21年	平成20年	平成21年	平成20年
出 生	1 070 025	1 091 156	△ 21 131	8.5	8.7	分 秒 29"	分 秒 29"
死 亡	1 141 920	1 142 407	△ 487	9.1	9.1	28"	28"
乳 児 死 亡	2 556	2 798	△ 242	2.4	2.6	205' 38"	188' 22"
新生児死亡	1 254	1 331	△ 77	1.2	1.2	419' 8"	395' 58"
自 然 増 減	△ 71 895	△ 51 251	△ 20 644	△ 0.6	△ 0.4	…	…
死 産	27 021	28 177	△ 1 156	24.6	25.2	19' 27"	18' 42"
自 然 死 産	12 218	12 625	△ 407	11.1	11.3	43' 1"	41' 45"
人 工 死 産	14 803	15 552	△ 749	13.5	13.9	35' 30"	33' 53"
周 産 期 死 亡	4 517	4 720	△ 203	4.2	4.3	116' 22"	111' 40"
妊娠満22週 以後の死産	3 643	3 751	△ 108	3.4	3.4	144' 17"	140' 30"
早期新生児 死 亡	874	969	△ 95	0.8	0.9	601' 22"	543' 54"
婚 姻	707 824	726 106	△ 18 282	5.6	5.8	45"	44"
離 婚	253 408	251 136	2 272	2.01	1.99	2' 4"	2' 6"

	平成21年	平成20年
合 計 特 殊 出 生 率	1.37	1.37

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。
死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 出生

(1) 出生数

平成 21 年の出生数は 107 万 25 人で、前年の 109 万 1156 人より 2 万 1131 人減少した。

第 1 次ベビーブーム期（昭和 22～24 年）に生まれた女性が出産したことにより、昭和 46～49 年には第 2 次ベビーブームとなり、1 年間に 200 万人を超える出生数であった。昭和 50 年以降は毎年減少し続け、平成 4 年以降は増加と減少を繰り返しながら、ゆるやかな減少傾向であったが、平成 13 年からは 5 年連続で減少した。平成 18 年は 6 年ぶりに増加したが、平成 19 年は減少、平成 20 年は増加、平成 21 年は再び減少した。（図 1）

出生率（人口千対）は 8.5 で、前年の 8.7 を下回った。

出生数を母の年齢（5 歳階級）別にみると、15 歳～34 歳の各階級及び 50 歳以上では前年より減少したが、35 歳～49 歳の各階級では増加となった。（表 2－1）

出生順位別にみると、いずれの出生順位についても平成 13 年から 5 年連続で減少したが、平成 18 年には 6 年ぶりに増加した。平成 19 年及び平成 20 年は、第 1 子、第 2 子は減少する一方で、第 3 子以上は増加したが、平成 21 年は全てで減少した。（表 2－2）

第 1 子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成 21 年は 29.7 歳である。（表 3）

図 1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

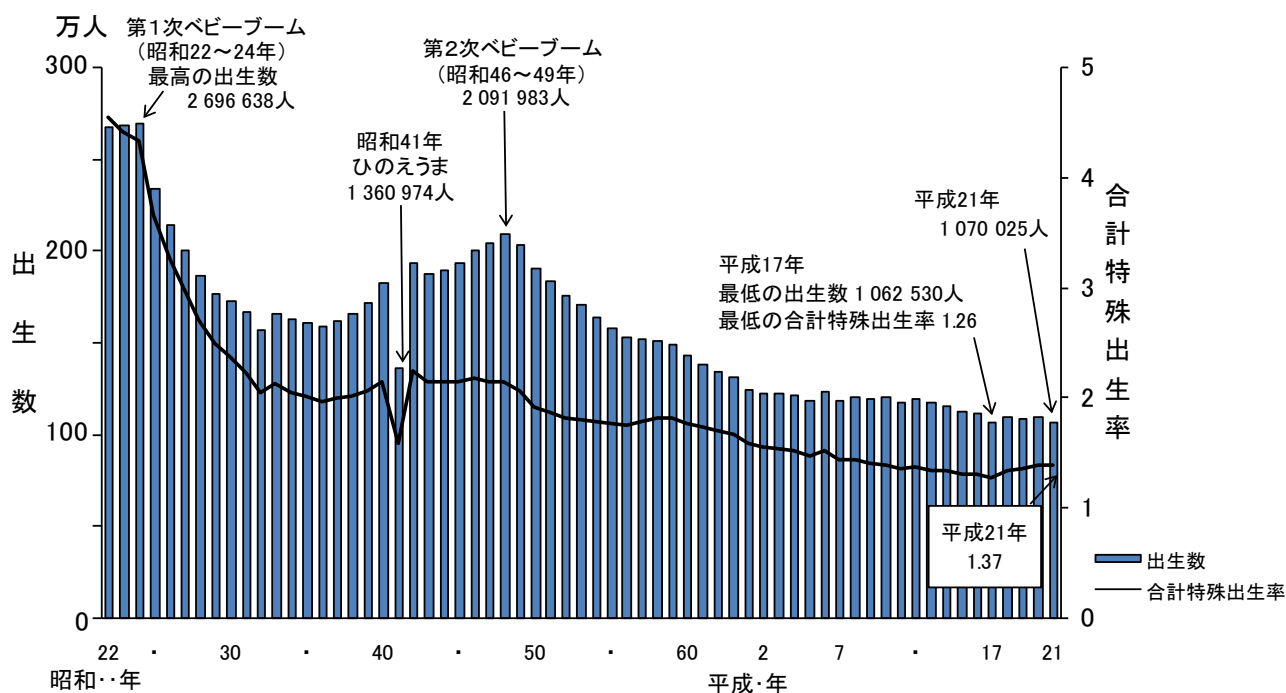


表 2－1 母の年齢（５歳階級）別にみた出生数の年次推移

母の年齢	出 生 数				対前年増減		
	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	19年-18年	20年-19年	21年-20年
総 数	1 092 674	1 089 818	1 091 156	1 070 025	△ 2 856	1 338	△ 21 131
～14歳	41	39	38	67	△ 2	△ 1	29
15～19	15 933	15 211	15 427	14 620	△ 722	216	△ 807
20～24	130 230	126 180	124 691	116 807	△ 4 050	△ 1 489	△ 7 884
25～29	335 771	324 041	317 753	307 764	△ 11 730	△ 6 288	△ 9 989
30～34	417 776	412 611	404 771	389 788	△ 5 165	△ 7 840	△ 14 983
35～39	170 775	186 568	200 328	209 703	15 793	13 760	9 375
40～44	21 608	24 553	27 522	30 566	2 945	2 969	3 044
45～49	522	590	594	684	68	4	90
50歳以上	9	19	24	20	10	5	△ 4

注：総数には母の年齢不詳を含む。

表 2－2 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出 生 数				対前年増減		
	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	19年-18年	20年-19年	21年-20年
総 数	1 092 674	1 089 818	1 091 156	1 070 025	△ 2 856	1 338	△ 21 131
第 1 子	524 581	519 767	517 724	512 739	△ 4 814	△ 2 043	△ 4 985
第 2 子	408 531	403 656	402 152	390 068	△ 4 875	△ 1 504	△ 12 084
第 3 子以上	159 562	166 395	171 280	167 218	6 833	4 885	△ 4 062

表 3 第 1 子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和50年	60	平成7年	17	18	19	20	21
平均年齢	25.7 歳	26.7	27.5	29.1	29.2	29.4	29.5	29.7

(2) 合計特殊出生率

平成 21 年の合計特殊出生率は前年と同率の 1.37 となった。

昭和 40 年代は、第 2 次ベビーブーム期（昭和 46～49 年）を含めほぼ 2.1 台で推移し、昭和 50 年に 2.00 を下回ってからは低下傾向が続き、平成 18 年に 6 年ぶりに上昇してからは 3 年連続上昇していたが、平成 21 年は前年と同率の 1.37 となった。（統計表第 2 表、図 2）

年齢（5 歳階級）別にみると、15～29 歳の各階級では減少し、30～49 歳の各階級では上昇した。最も合計特殊出生率が高いのは、30～34 歳となっている。（表 4－1、図 2）

出生順位別にみると、第 1 子は上昇したが、第 2 子、第 3 子以上は低下した。（表 4－2）

都道府県別にみると、沖縄県（1.79）、宮崎県（1.61）、熊本県（1.58）、鹿児島県（1.56）等が高く、東京都（1.12）、北海道（1.19）、京都府（1.20）等大都市を含む地域が低くなっている。（表 5、図 3）

表 4－1 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	18	19	20	21	19年-18年	20年-19年	21年-20年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	0.02	0.03	0.00
15～19 歳	0.0229	0.0185	0.0253	0.0250	0.0246	0.0256	0.0249	△ 0.0004	0.0010	△ 0.0007
20～24	0.3173	0.2022	0.1823	0.1871	0.1831	0.1847	0.1779	△ 0.0040	0.0016	△ 0.0068
25～29	0.8897	0.5880	0.4228	0.4353	0.4341	0.4378	0.4320	△ 0.0012	0.0037	△ 0.0058
30～34	0.4397	0.4677	0.4285	0.4516	0.4614	0.4718	0.4756	0.0098	0.0104	0.0038
35～39	0.0846	0.1311	0.1761	0.1886	0.2025	0.2132	0.2217	0.0139	0.0107	0.0085
40～44	0.0094	0.0148	0.0242	0.0286	0.0305	0.0329	0.0354	0.0019	0.0024	0.0025
45～49	0.0003	0.0004	0.0008	0.0007	0.0008	0.0008	0.0009	0.0001	0.0000	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

表 4－2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	18	19	20	21	19年-18年	20年-19年	21年-20年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	0.02	0.03	0.00
第 1 子	0.7611	0.6607	0.6240	0.6518	0.6590	0.6712	0.6782	0.0072	0.0122	0.0070
第 2 子	0.6950	0.5209	0.4643	0.4820	0.4847	0.4933	0.4889	0.0027	0.0086	△ 0.0044
第 3 子以上	0.3078	0.2410	0.1717	0.1831	0.1933	0.2023	0.2013	0.0102	0.0090	△ 0.0010

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

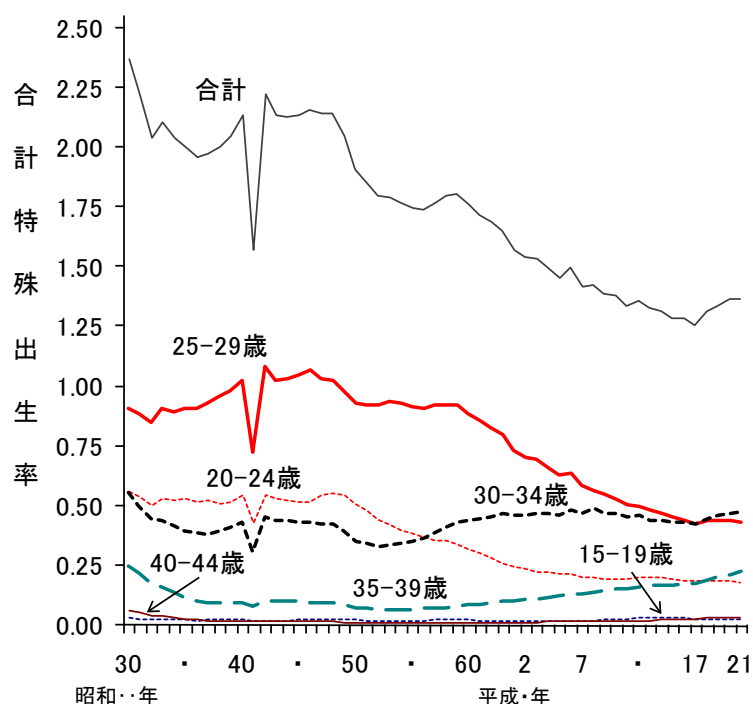
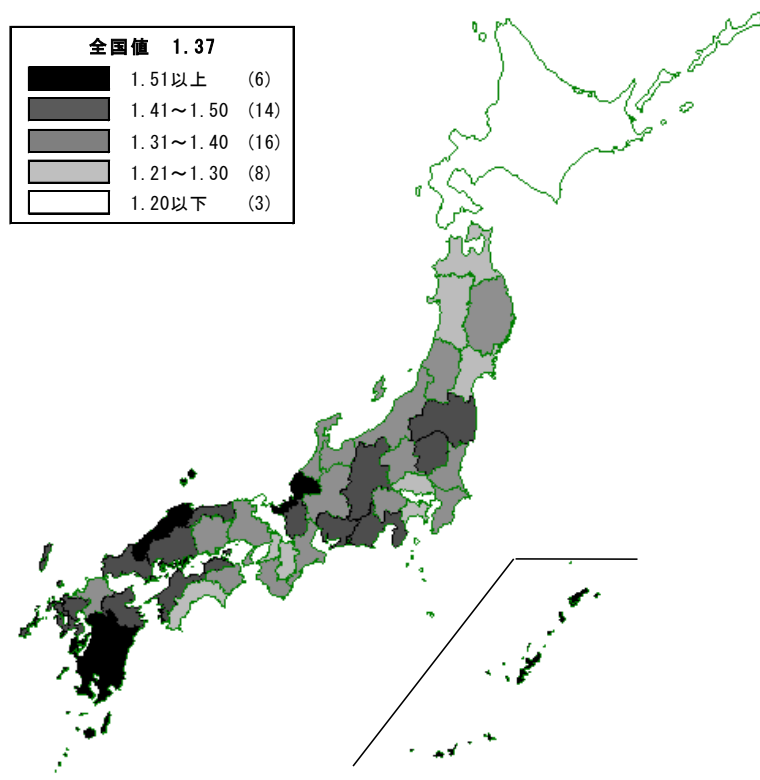


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成21年	平成20年
全 国	1.37	1.37
北 海 道	1.19	1.20
青 森 県	1.26	1.30
岩 手 県	1.37	1.39
宮 城 県	1.25	1.29
秋 田 県	1.29	1.32
山 形 県	1.39	1.44
福 島 県	1.49	1.52
茨 城 県	1.37	1.37
栃 木 県	1.43	1.42
群 馬 県	1.38	1.40
埼 玉 県	1.28	1.28
千 葉 県	1.31	1.29
東 京 都	1.12	1.09
神 奈 川 県	1.28	1.27
新 潟 県	1.37	1.37
富 山 県	1.37	1.38
石 川 県	1.40	1.41
福 井 県	1.55	1.54
山 梨 県	1.31	1.35
長 野 県	1.43	1.45
岐 阜 県	1.37	1.35
静 岡 県	1.43	1.44
愛 知 県	1.43	1.43
三 重 県	1.40	1.38
滋 賀 県	1.44	1.45
京 都 府	1.20	1.22
大 阪 府	1.28	1.28
兵 庫 県	1.33	1.34
奈 良 県	1.23	1.22
和 歌 山 県	1.36	1.41
鳥 取 県	1.46	1.43
島 根 県	1.55	1.51
岡 山 県	1.39	1.43
広 島 県	1.47	1.45
山 口 県	1.43	1.43
徳 島 県	1.35	1.30
香 川 県	1.48	1.47
愛 媛 県	1.41	1.40
高 知 県	1.29	1.36
福 岡 県	1.37	1.37
佐 賀 県	1.49	1.55
長 崎 県	1.50	1.50
熊 本 県	1.58	1.58
大 分 県	1.50	1.53
宮 崎 県	1.61	1.60
鹿 児 島 県	1.56	1.59
沖 縄 県	1.79	1.78

図3 都道府県別合計特殊出生率（平成21年）



注：分母に用いた人口は、全国は各歳別日本人人口、都道府県は5歳階級別総人口。

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 21 年の死亡数は 114 万 1920 人で、前年の 114 万 2407 人より 487 人減少し、死亡率（人口千対）は前年と同率の 9.1 となった。

昭和 30 年以降は 70 万人前後で推移していたが、昭和 50 年代後半から増加傾向となり、平成 2 年以降は 80 万人台、平成 7 年以降にはほぼ 90 万人台となり、平成 15 年からは 100 万人をこえ、平成 19 年からは 110 万人台となっている。

昭和 50 年代後半から 75 歳以上の高齢者の死亡が増加しており、平成 20 年からは死亡数の約 3 分の 2 を占めている。（図 4）

年齢（5 歳階級）別に死亡率（人口 10 万対）をみると、ほとんどの年齢階級で前年より低下している。（表 6－1）

死亡率性比（男の死亡率／女の死亡率×100）を年齢（5 歳階級）別にみると、全年齢階級で 100 以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。また、50～79 歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の 2 倍以上となっている。（表 6－2）

図 4 死亡数及び死亡率の年次推移

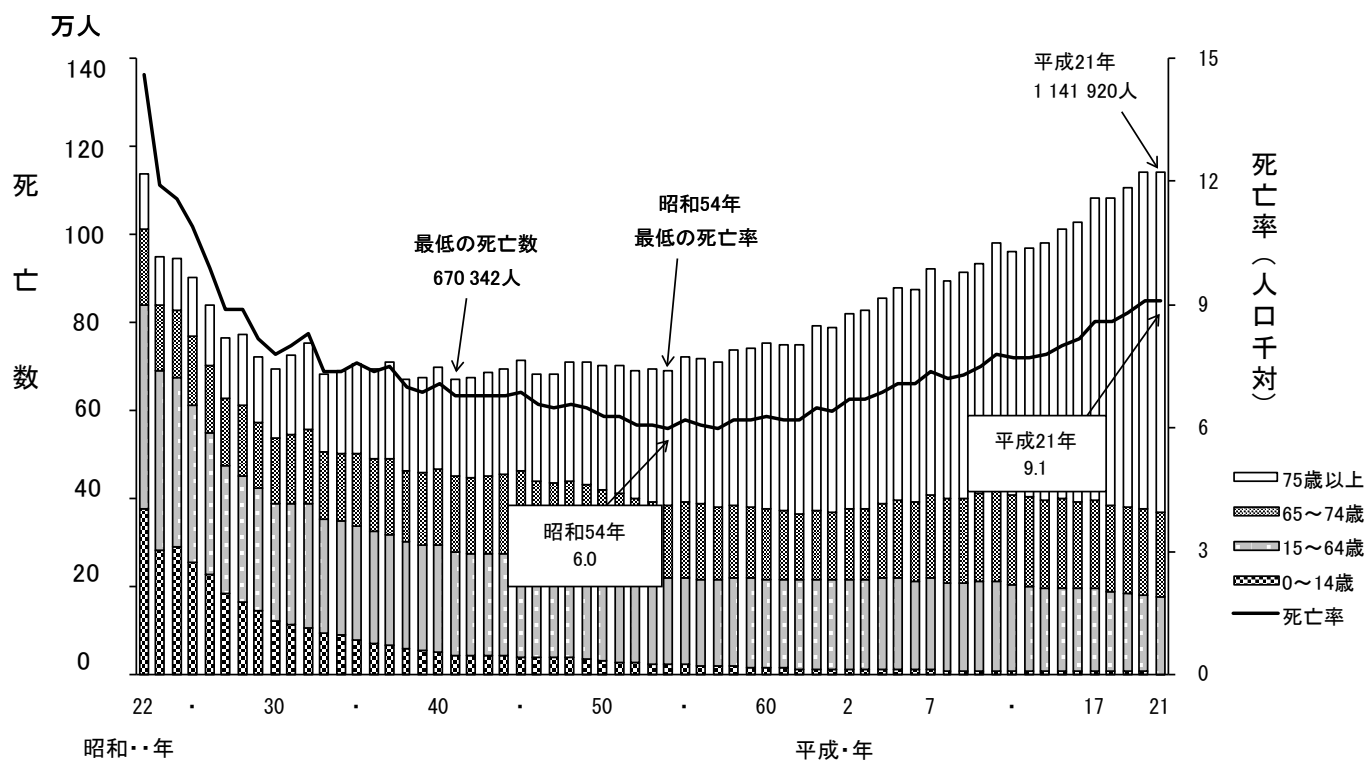


表 6－1 年齢（５歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口１０万対）

年齢階級	死 亡 数			死 亡 率		
	平成21年	平成20年	対前年増減	平成21年	平成20年	対前年増減
総数	1 141 920	1 142 407	△ 487	907.6	907.1	0.5
0～4歳	3 460	3 747	△ 287	65.0	70.1	△ 5.1
5～9	534	557	△ 23	9.5	9.7	△ 0.2
10～14	488	516	△ 28	8.3	8.7	△ 0.4
15～19	1 467	1 621	△ 154	24.4	26.7	△ 2.3
20～24	2 960	2 977	△ 17	44.3	43.3	1.0
25～29	3 559	3 622	△ 63	48.9	49.1	△ 0.2
30～34	4 927	5 282	△ 355	58.7	60.1	△ 1.4
35～39	7 786	7 690	96	81.7	81.6	0.1
40～44	10 369	10 034	335	123.1	121.7	1.4
45～49	14 579	14 674	△ 95	189.3	191.6	△ 2.3
50～54	22 688	23 321	△ 633	296.5	301.7	△ 5.2
55～59	41 931	46 146	△ 4 215	462.8	472.6	△ 9.8
60～64	61 605	60 767	838	658.5	682.6	△ 24.1
65～69	82 044	80 491	1 553	983.5	1 006.3	△ 22.8
70～74	109 530	115 785	△ 6 255	1 592.2	1 671.5	△ 79.3
75～79	159 487	163 351	△ 3 864	2 754.0	2 873.4	△ 119.4
80～84	201 418	198 991	2 427	4 771.8	4 920.6	△ 148.8
85～89	189 929	183 113	6 816	8 176.0	8 457.9	△ 281.9
90～94	139 747	140 585	△ 838	14 466.6	14 782.9	△ 316.3
95～99	67 801	64 764	3 037	21 731.1	22 724.2	△ 993.1
100歳以上	14 950	13 837	1 113	31 145.8	33 748.8	△ 2 603.0

注：総数には年齢不詳を含む。

表 6－2 性・年齢（５歳階級）別にみた死亡数・死亡率
（人口１０万対）・死亡率性比（平成２１年）

年齢階級	死 亡 数		死 亡 率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	609 079	532 841	993.0	826.4	120.2
0～4歳	1 935	1 525	70.9	58.8	120.6
5～9	293	241	10.1	8.8	114.8
10～14	283	205	9.4	7.1	132.4
15～19	994	473	32.3	16.2	199.4
20～24	2 046	914	59.5	28.2	211.0
25～29	2 367	1 192	63.7	33.5	190.1
30～34	3 254	1 673	76.2	40.5	188.1
35～39	5 061	2 725	104.6	58.0	180.3
40～44	6 812	3 557	160.0	85.4	187.4
45～49	9 619	4 960	248.0	129.7	191.2
50～54	15 317	7 371	400.7	192.6	208.0
55～59	29 121	12 810	649.7	279.8	232.2
60～64	43 252	18 353	945.6	383.8	246.4
65～69	56 765	25 279	1 424.8	580.2	245.6
70～74	73 059	36 471	2 294.6	987.0	232.5
75～79	100 783	58 704	4 002.5	1 793.0	223.2
80～84	112 993	88 425	6 856.4	3 436.6	199.5
85～89	80 431	109 498	11 424.9	6 763.3	168.9
90～94	45 518	94 229	19 205.9	12 925.8	148.6
95～99	16 227	51 574	27 045.0	20 465.9	132.1
100歳以上	2 391	12 559	34 157.1	30 631.7	111.5

注：１）総数には年齢不詳を含む。

２）死亡率性比＝男の死亡率／女の死亡率×１００

(2) 死因

① 死因順位

平成 21 年の死亡数・死亡率（人口 10 万対）を死因順位別にみると、第 1 位は悪性新生物で 34 万 3954 人、273.4、第 2 位は心疾患 18 万 602 人、143.5、第 3 位は脳血管疾患 12 万 2274 人、97.2 となっている。（表 7）

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は、一貫して上昇を続け、昭和 56 年以降死因順位第 1 位となり、平成 21 年の全死亡者に占める割合は 30.1%となっている。全死亡者のおよそ 3 人に 1 人は悪性新生物で死亡したことになる。

心疾患は、昭和 60 年に脳血管疾患にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに上昇傾向であったが、平成 21 年は前年より減少し、全死亡者に占める割合は 15.8%となっている。

脳血管疾患は、昭和 26 年に結核にかわって第 1 位となったが、昭和 45 年をピークに低下しはじめ、昭和 56 年には悪性新生物にかわり第 2 位に、更に、昭和 60 年には心疾患にかわり第 3 位となりその後も死亡数・死亡率ともに低下を続けている。平成 21 年の全死亡者に占める割合は 10.7%となっている。（図 5、図 6）

図 5 主な死因別死亡数の割合（平成 21 年）

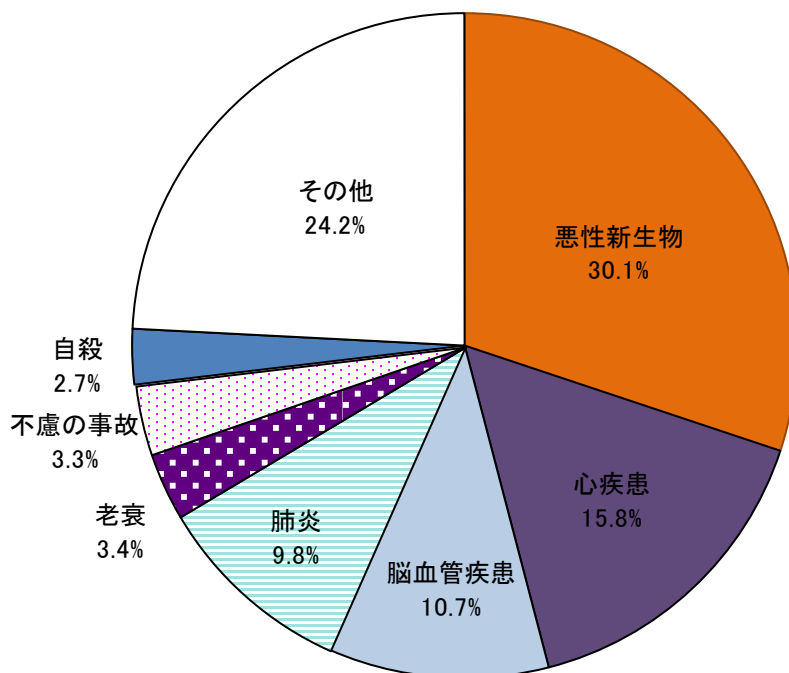


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成21年						平成20年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 141 920	907.6	609 079	993.0	532 841	826.4	1 142 407	907.1
悪 性 新 生 物	(1) 343 954	273.4	(1) 206 260	336.3	(1) 137 694	213.5	(1) 342 963	272.3
心 疾 患	(2) 180 602	143.5	(2) 85 443	139.3	(2) 95 159	147.6	(2) 181 928	144.4
脳 血 管 疾 患	(3) 122 274	97.2	(4) 59 243	96.6	(3) 63 031	97.8	(3) 127 023	100.9
肺 炎	(4) 111 922	89.0	(3) 59 841	97.6	(4) 52 081	80.8	(4) 115 317	91.6
老 衰	(5) 38 649	30.7	(10) 9 293	15.2	(5) 29 356	45.5	(6) 35 975	28.6
不慮の事故	(6) 37 583	29.9	(5) 22 502	36.7	(6) 15 081	23.4	(5) 38 153	30.3
自殺	(7) 30 649	24.4	(6) 22 158	36.1	(8) 8 491	13.2	(7) 30 229	24.0
腎 不 全	(8) 22 724	18.1	(8) 10 706	17.5	(7) 12 018	18.6	(8) 22 517	17.9
肝 疾 患	(9) 15 937	12.7	(9) 10 440	17.0	(11) 5 497	8.5	(9) 16 268	12.9
慢性閉塞性肺疾患	(10) 15 339	12.2	(7) 11 928	19.4	(16) 3 411	5.3	(10) 15 520	12.3

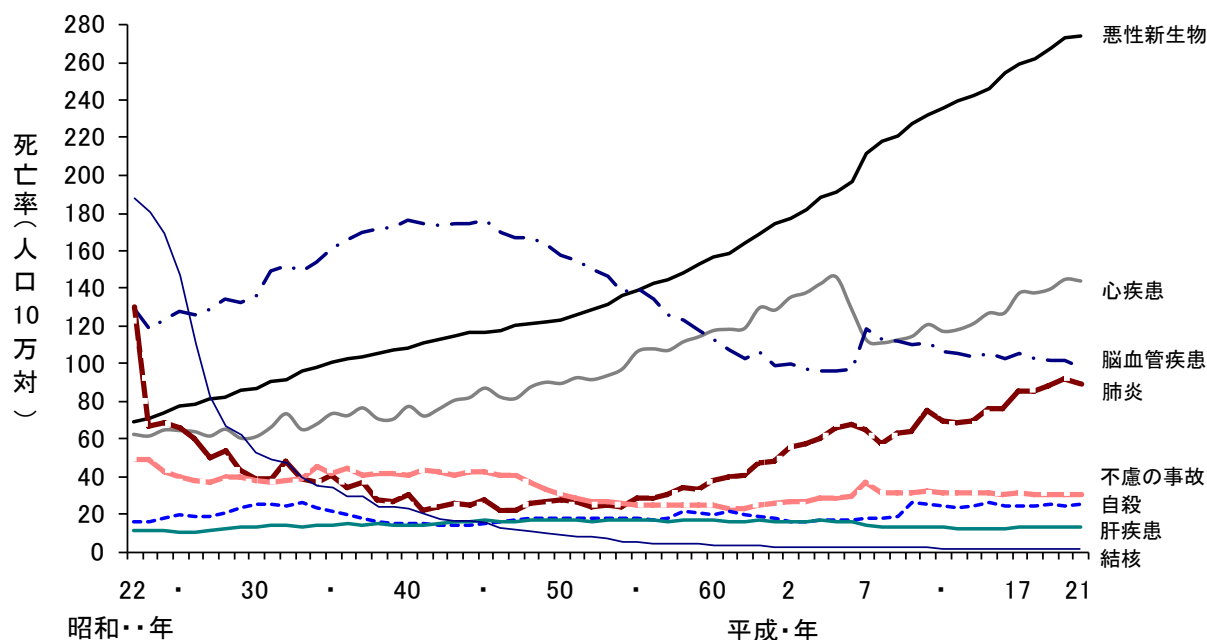
注：1）（ ）内の数字は死因順位を示す。

2）女の9位は「糖尿病」で死亡数は6 576、死亡率は10.2である。

3）女の10位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数は6 237、死亡率は9.7である。

4）「結核」は死亡数が2 155、死亡率は1.7で第24位となっている。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1）平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。

2）平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

② 年齢別死因

平成 21 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別に構成割合でみると、5～14 歳では不慮の事故及び悪性新生物が、15～19 歳及び 20 歳代では不慮の事故及び自殺が多く、30 歳代、40 歳代では自殺及び悪性新生物が多い。40 歳代からは年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が多くなり、男では 60 歳代で、女では 50 歳代でピークとなる。それ以降は男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎の占める割合が、年齢が高くなるとともに多くなっている。男では 90 歳以上で肺炎が最も多く、女では 85 歳以上 100 歳未満で心疾患、100 歳以上では老衰が最も多くなっている。（図 7－1）

また、減少を続ける 1 歳未満の乳児死亡数は 5 年連続で 3000 人を下回り、その死因別構成割合をみると、「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多い。（図 7－2）

図 7－1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成 21 年）

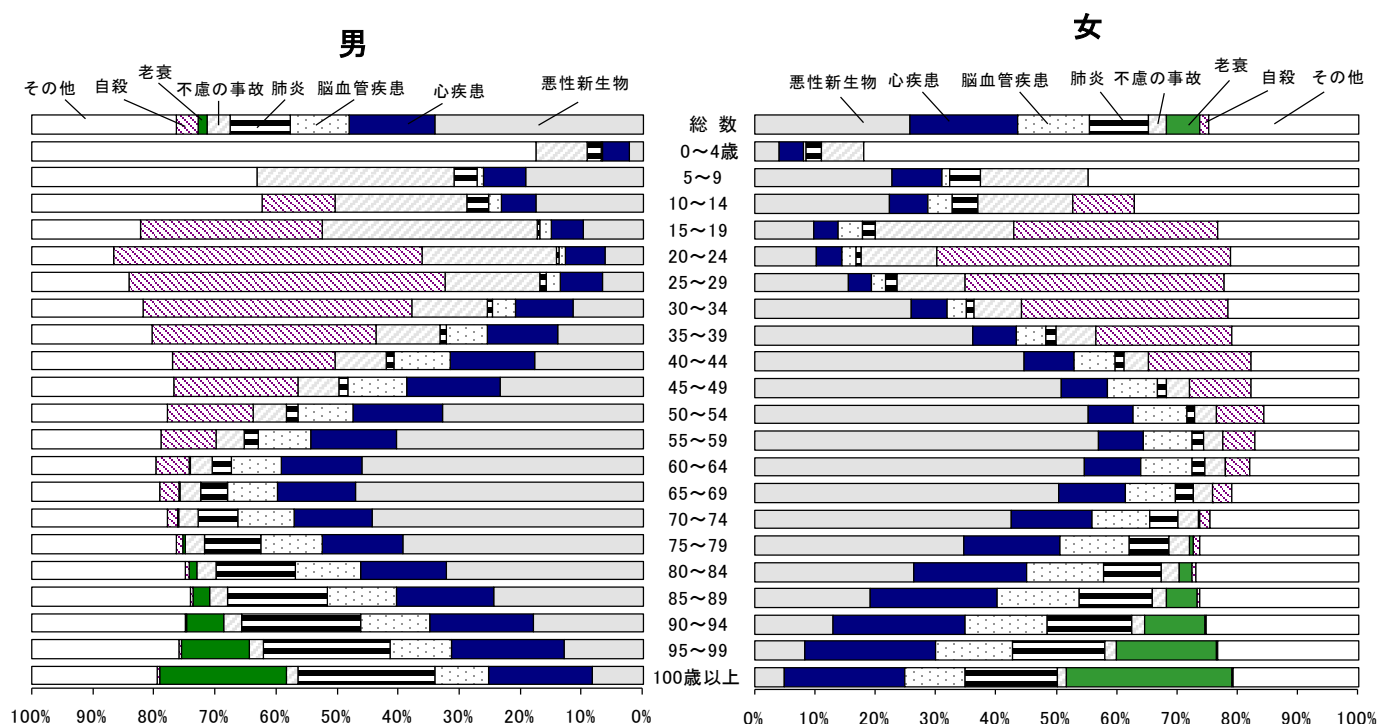
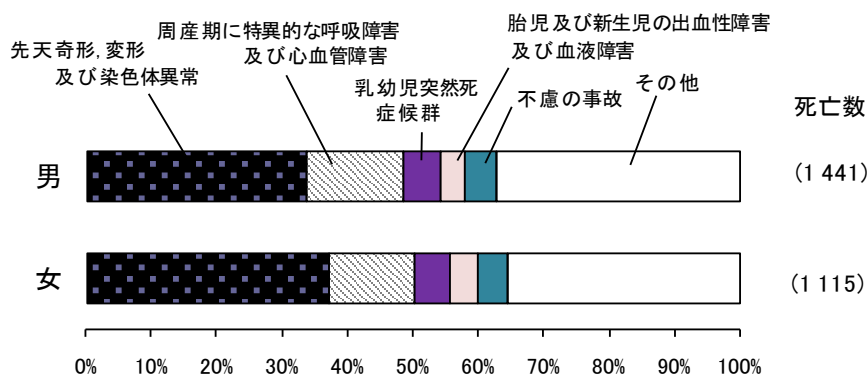


図 7－2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成 21 年）



③ 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、男の「肺」は上昇傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成21年の死亡数は4万9022人、死亡率（人口10万対）は79.9となっている。

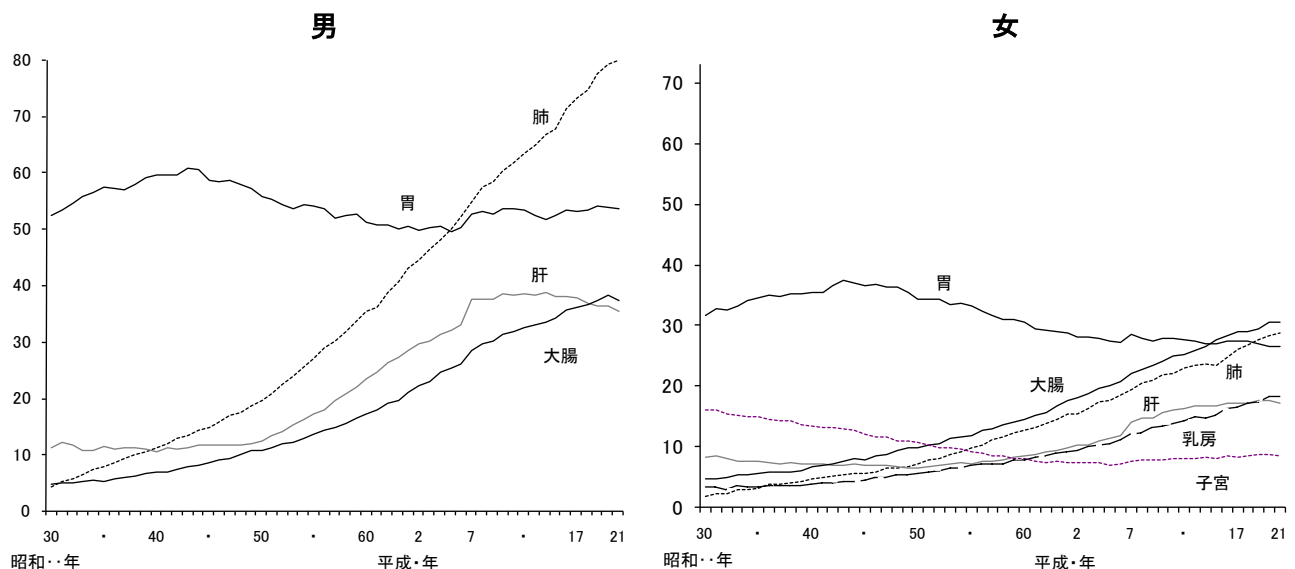
また、女の「大腸」と「肺」は上昇傾向が続いており、「大腸」は平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成21年の死亡数は1万9659人、死亡率（人口10万対）は30.5となっている。（表8、図8）

表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

部位	昭和40年	50	60	平成7年	17	18	19	20	21
男									
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	32 745	33 143	32 973	32 764
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	22 576	22 300	22 332	21 631
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	45 941	47 685	48 610	49 022
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	22 392	22 846	23 419	22 748
女									
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	17 670	17 454	17 187	17 236
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	11 086	11 299	11 333	11 083
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	17 314	17 923	18 239	18 546
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	11 177	11 323	11 797	11 914
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	5 513	5 622	5 709	5 523
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	18 664	19 013	19 592	19 659
男									
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	53.2	53.9	53.7	53.4
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	36.7	36.3	36.4	35.3
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	74.6	77.5	79.1	79.9
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	36.4	37.1	38.1	37.1
女									
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	27.4	27.0	26.6	26.7
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	17.2	17.5	17.6	17.2
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	26.8	27.8	28.3	28.8
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	17.3	17.5	18.3	18.5
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	8.5	8.7	8.8	8.6
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	28.9	29.4	30.4	30.5

注：大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移



4 婚姻

平成 21 年の婚姻件数は 70 万 7824 組で、前年の 72 万 6106 組より 1 万 8282 組減少し、婚姻率（人口千対）は 5.6 で前年の 5.8 を下回った。

婚姻件数は昭和 40 年代後半には 100 万組を超え、婚姻率（人口千対）も 10.0 以上で、婚姻ブームを呈した。その後は組数・率とも低下傾向となり、昭和 63 年以降は増加に転じ、平成 5 年以降は増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移していたが、平成 14 年から 4 年連続で減少し、平成 18 年以降は増減をくりかえしている。（図 9）

初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合を 10 年ごとにみると、ピーク時の年齢が上昇するとともに、その年齢が占める割合は低下し、高い年齢の割合が増加している。また、年齢（5 歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）をみると、前年に比べ 20 代では低下し、30 代では上昇している。（表 9、図 10）

平成 21 年の平均初婚年齢は、夫 30.4 歳、妻 28.6 歳で、夫は前年より 0.2 歳、妻は前年より 0.1 歳上昇している。これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫は、宮崎県で 29.3 歳、妻は福島県で 27.5 歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫 31.6 歳、妻 29.7 歳である。（表 10-1、表 10-2）

再婚の割合をみると、夫は前年と同率で 18.7%、妻は 16.5% で前年より 0.1 ポイント減少している。（表 11）

図 9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

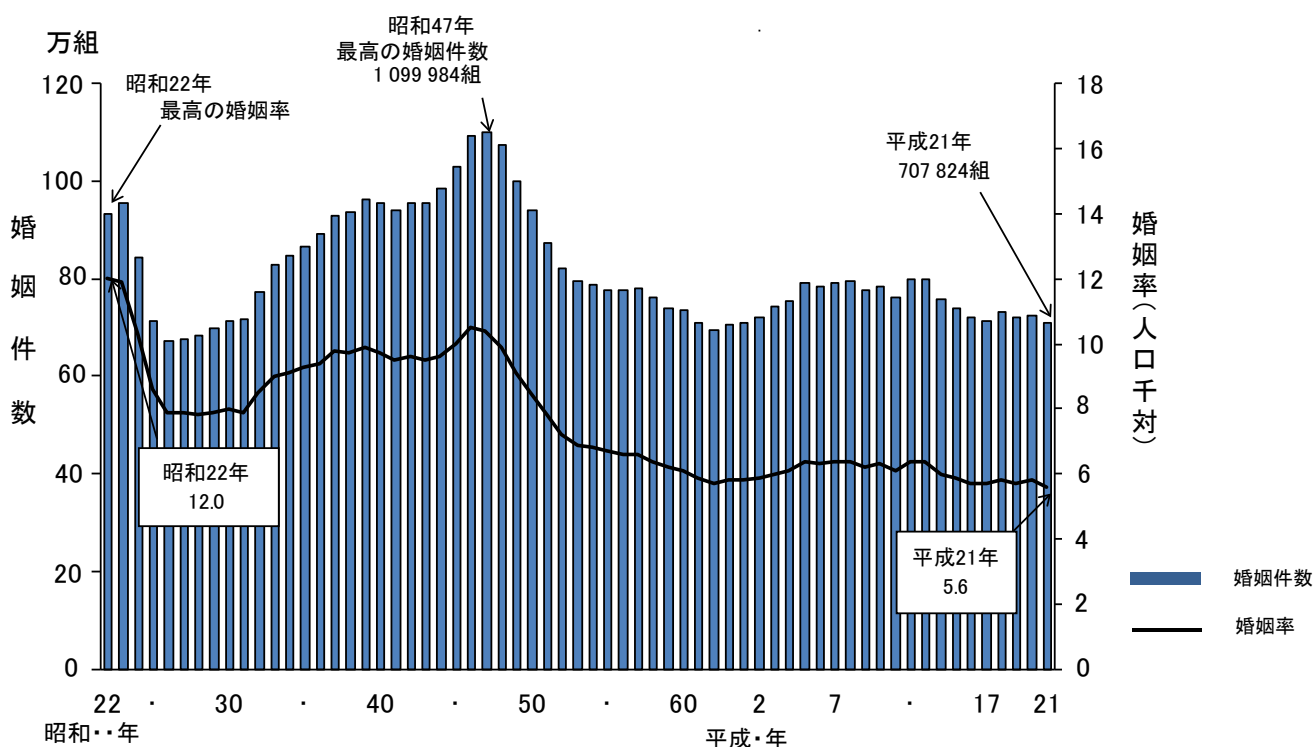
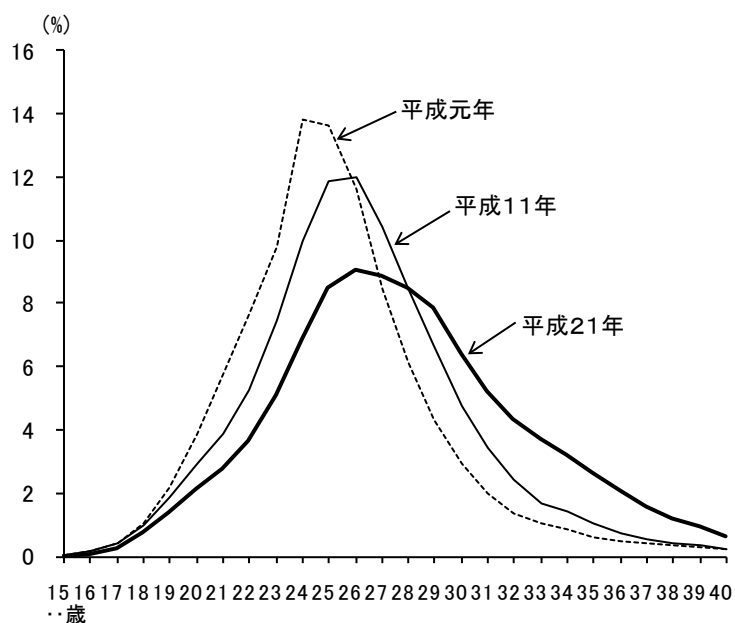


図 10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表 9 年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 5 年	52.07	72.61	16.72	3.35
10	44.88	66.16	19.62	4.50
15	36.24	60.82	23.29	6.28
19	33.25	61.10	26.17	8.14
20	33.41	61.84	27.71	8.74
21	32.04	60.64	28.00	9.16

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表 11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
平成 5 年	12.7	11.1
10	13.9	12.4
15	17.1	15.4
19	18.8	16.5
20	18.7	16.6
21	18.7	16.5

表 10-1 平均初婚年齢の年次推移

	夫	妻
	歳	歳
平成 5 年	28.4	26.1
10	28.6	26.7
15	29.4	27.6
19	30.1	28.3
20	30.2	28.5
21	30.4	28.6

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表 10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢（平成 21 年）

都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	29.8	28.4
青森	30.0	28.1
岩手	30.2	28.1
宮城	30.0	28.3
秋田	30.0	28.2
山形	29.9	28.0
福島	29.4	27.5
茨城	30.2	28.2
栃木	30.2	28.3
群馬	30.2	28.3
埼玉	30.8	28.9
千葉	30.8	28.8
東京	31.6	29.7
神奈川	31.1	29.2
新潟	30.3	28.4
富山	30.3	28.4
石川	30.1	28.3
福井	30.0	28.2
山梨	30.8	28.7
長野	30.7	28.8
岐阜	30.1	28.1
静岡	30.2	28.2
愛知	30.2	28.3
三重	29.8	28.1
滋賀	29.9	28.1
京都	30.6	28.9
大阪	30.4	28.8
兵庫	30.2	28.6
奈良	30.2	28.7
和歌山	29.7	28.1
鳥取	29.7	28.0
島根	29.8	28.1
岡山	29.6	28.0
広島	29.8	28.2
山口	29.6	27.9
徳島	29.8	28.2
香川	29.6	28.0
愛媛	29.4	27.9
高知	30.2	28.5
福岡	29.9	28.5
佐賀	29.6	28.0
長崎	29.5	28.1
熊本	29.4	28.0
大分	29.8	28.3
宮崎	29.3	27.9
鹿児島	29.5	28.1
沖縄	29.8	28.3

注：平成21年に結婚生活に入ったもの。

5 離婚

平成 21 年の離婚件数は 25 万 3408 組で、前年の 25 万 1136 組より 2272 組増加した。

離婚件数は昭和 39 年以降毎年増加し、昭和 46 年には 10 万組を超え、その後も増加を続けたが、昭和 58 年をピークに減少に転じ、平成 3 年から再び増加。平成 15 年からは 6 年連続で減少していたが、平成 21 年は増加した。(図 1 1)

離婚率(人口千対)は 2.01 で、前年の 1.99 を上回った。(統計表第 2 表)

離婚件数を同居期間別にみると、1 年未満、4～5 年、5～10 年では減少しているが、それ以外の同居期間では増加している。(表 1 2、図 1 2)

図 1 1 離婚件数及び離婚率の年次推移

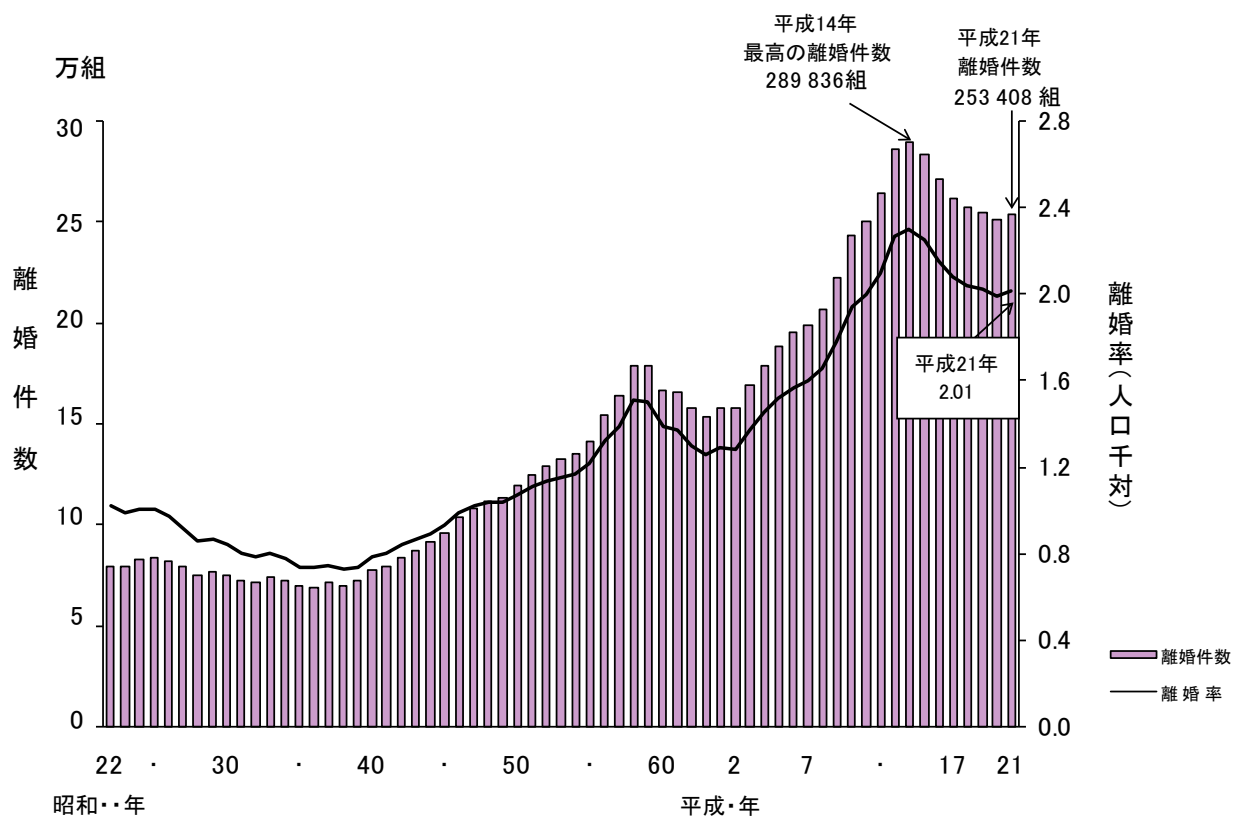
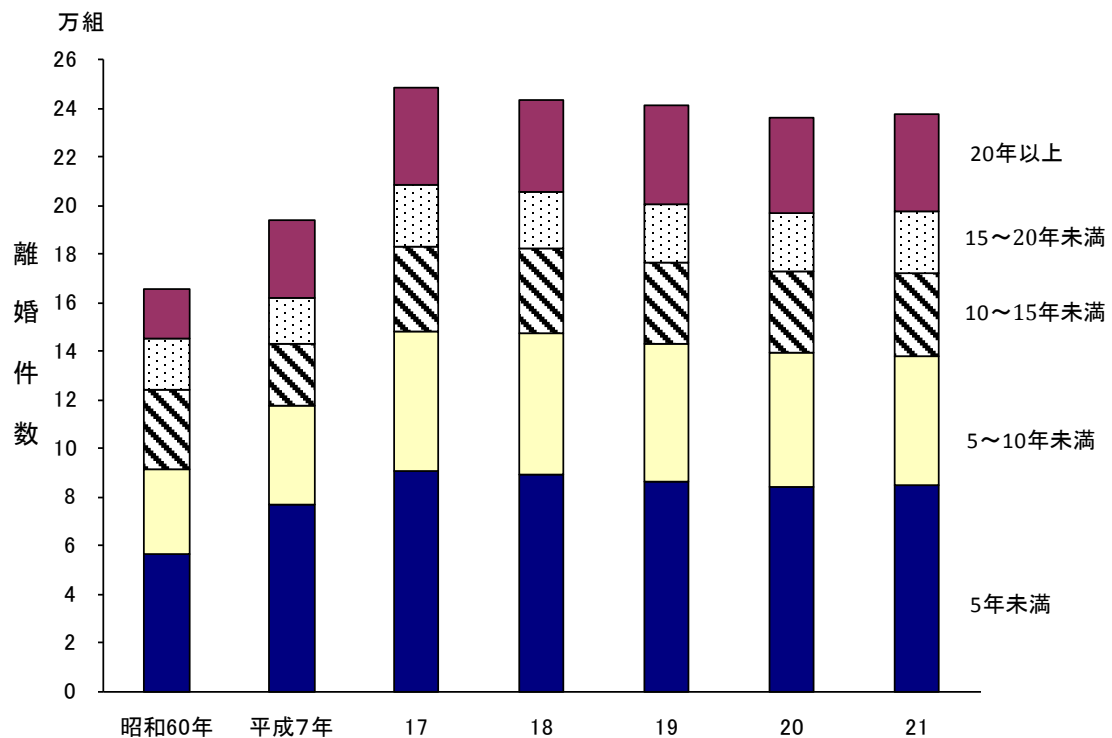


表 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和60年	平成7年	17	18	19	20	21	対前年(21年-20年)	
								増減数	増減率
総 数	166 640	199 016	261 917	257 475	254 832	251 136	253 408	2 272	0.9
5年未満	56 422	76 710	90 885	89 655	86 607	84 198	84 691	493	0.6
1年未満	12 656	14 893	16 558	17 348	17 206	16 668	16 585	△ 83	△ 0.5
1～2	12 817	18 081	20 159	19 535	19 617	19 115	19 483	368	1.9
2～3	11 710	16 591	19 435	18 918	18 162	17 999	18 250	251	1.4
3～4	10 434	14 576	18 144	17 425	16 572	15 812	16 188	376	2.4
4～5	8 825	12 569	16 589	16 429	15 050	14 604	14 185	△ 419	△ 2.9
5～10年未満	35 338	41 185	57 562	58 002	56 335	55 004	53 663	△ 1 341	△ 2.4
10～15年未満	32 310	25 308	35 093	34 740	33 693	33 606	34 189	583	1.7
15～20年未満	21 528	19 153	24 885	23 675	24 166	24 264	24 992	728	3.0
20年以上	20 434	31 877	40 395	37 782	40 353	38 920	40 106	1 186	3.0
20～25年未満	12 706	17 847	18 401	17 059	17 789	16 932	17 301	369	2.2
25～30	4 827	8 684	10 747	10 029	10 796	10 673	10 979	306	2.9
30～35	1 793	3 506	6 453	5 947	6 261	5 867	5 950	83	1.4
35年以上	1 108	1 840	4 794	4 747	5 507	5 448	5 876	428	7.9

注：総数には同居期間不詳を含む。

図 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移



統計表

第 1 表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年 次		出 生 数	死 亡 数	(再 掲) 乳児死亡数	新 生 児 死 亡 数	自然増減数
1899	明治 32 年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元 年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元 年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注： *印は概数である。

年 次		出 生 数	死 亡 数	(再 掲) 乳児死亡数	新 生 児 死 亡 数	自然増減数
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元 年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
2007	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
2008	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
2009	* 21	1 070 025	1 141 920	2 556	1 254	△ 71 895

第1表

人口動態総覧の年次推移 (2-2)

(参考)

年次		死産数			2) 周産期 死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期 死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32 年	135 727	…	…	…	297 372	66 545	…
1900	33	137 987	…	…	…	346 528	63 828	…
1901	34	155 489	…	…	…	378 457	63 442	…
1902	35	157 708	…	…	…	394 165	64 139	…
1903	36	153 920	…	…	…	370 961	65 392	…
1904	37	147 058	…	…	…	398 930	63 913	…
1905	38	142 092	…	…	…	350 898	60 061	…
1906	39	149 731	…	…	…	352 857	65 398	…
1907	40	158 814	…	…	…	432 949	61 058	…
1908	41	162 676	…	…	…	461 254	60 226	…
1909	42	161 576	…	…	…	437 882	58 936	…
1910	43	157 392	…	…	…	441 222	59 432	…
1911	44	155 319	…	…	…	433 117	58 067	…
1912	大正 元 年	147 545	…	…	…	430 422	59 143	…
1913	2	147 769	…	…	…	431 287	59 536	…
1914	3	145 692	…	…	…	452 932	59 992	…
1915	4	141 301	…	…	…	445 210	59 943	…
1916	5	139 998	…	…	…	433 680	60 254	…
1917	6	140 328	…	…	…	447 970	55 812	…
1918	7	142 507	…	…	…	500 580	56 474	…
1919	8	132 939	…	…	…	480 136	56 812	…
1920	9	144 038	…	…	…	546 207	55 511	…
1921	10	138 301	…	…	…	519 217	53 402	…
1922	11	132 244	…	…	…	515 916	53 053	…
1923	12	133 863	…	…	…	512 689	51 212	…
1924	13	125 839	…	…	…	513 130	51 770	…
1925	14	124 403	…	…	…	521 438	51 687	…
1926	昭和 元 年	124 038	…	…	…	502 847	50 119	…
1927	2	116 922	…	…	…	487 850	50 626	…
1928	3	120 191	…	…	…	499 555	49 119	…
1929	4	116 971	…	…	…	497 410	51 222	…
1930	5	117 730	…	…	…	506 674	51 259	…
1931	6	116 509	…	…	…	496 574	50 609	…
1932	7	119 579	…	…	…	515 270	51 437	…
1933	8	114 138	…	…	…	486 058	49 282	…
1934	9	113 043	…	…	…	512 654	48 610	…
1935	10	115 593	…	…	…	556 730	48 528	…
1936	11	111 056	…	…	…	549 116	46 167	…
1937	12	111 485	…	…	…	674 500	46 500	…
1938	13	99 528	…	…	…	538 831	44 656	…
1939	14	98 349	…	…	…	554 321	45 970	…
1940	15	102 034	…	…	…	666 575	48 556	…
1941	16	103 400	…	…	…	791 625	49 424	…
1942	17	95 448	…	…	…	679 044	46 268	…
1943	18	92 889	…	…	…	743 842	49 705	…
1947	22	123 837	…	…	…	934 170	79 551	…
1948	23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	…	953 999	79 032	…
1949	24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	…	842 170	82 575	…
1950	25	216 974	106 594	110 380	…	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	…	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	…	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	…	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	…	697 809	76 759	79 776

注： *印は概数である。

1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。

2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

(参考)

年 次		死 産 数			2) 周産期 死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期 死亡数
		総 数	自然死産	人工死産				
1955	昭和 30 年	183 265	85 159	98 106	…	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	…	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	…	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	…	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	…	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	…	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	…	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	…	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	…	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	…	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	…	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	…	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	…	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	…	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	…	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	…	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	…	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	…	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	…	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	…	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	…	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	…	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	…	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	…	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成 元 年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420
2007	19	29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306
2008	20	28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178
2009	* 21	27 021	12 218	14 803	4 517	707 824	253 408	3 093

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-1)

年 次		出 生 率	死 亡 率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人 口 千 対)		(出 生 千 対)		(人口千対)	(出 産 千 対)		
1899	明治 32 年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1	...	...
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5	...	...
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8	...	...
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5	...	...
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6	...	...
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6	...	...
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1	...	...
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0	...	...
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6	...	...
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1	...	...
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1	...	...
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2	...	...
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6	...	...
1912	大正 元 年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3	...	...
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6	...	...
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6	...	...
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8	...	...
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0	...	...
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9	...	...
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7	...	...
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5	...	...
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4	...	...
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0	...	...
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9	...	...
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5	...	...
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2	...	...
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3	...	...
1926	昭和 元 年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7	...	...
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7	...	...
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3	...	...
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3	...	...
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4	...	...
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5	...	...
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9	...	...
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1	...	...
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4	...	...
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1	...	...
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2	...	...
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6	...	...
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1	...	...
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2	...	...
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0	...	...
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4	...	...
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0	...	...
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6	...	...
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	...	...
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： *印は概数による率である。

1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出 生 率	死 亡 率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人 口 千 対)		(出 生 千 対)		(人口千対)		(出 産 千 対)	
1955	昭和 30 年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成 元 年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
2008	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
2009	* 21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-2) (参考)

年 次		周産期 死亡率 (出産千対) ²⁾	婚姻率 (人 口 千 対)	離婚率	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 ³⁾ (人 口 千 対)		周産期 死亡率 (出生千対) ⁴⁾
						男	女	
1899	明治 32 年	…	6.9	1.53	…	…	…	…
1900	33	…	7.9	1.46	…	…	…	…
1901	34	…	8.5	1.43	…	…	…	…
1902	35	…	8.8	1.43	…	…	…	…
1903	36	…	8.1	1.44	…	…	…	…
1904	37	…	8.6	1.39	…	…	…	…
1905	38	…	7.5	1.29	…	…	…	…
1906	39	…	7.5	1.39	…	…	…	…
1907	40	…	9.1	1.29	…	…	…	…
1908	41	…	9.6	1.26	…	…	…	…
1909	42	…	9.0	1.21	…	…	…	…
1910	43	…	9.0	1.21	…	…	…	…
1911	44	…	8.7	1.16	…	…	…	…
1912	大正 元 年	…	8.5	1.17	…	…	…	…
1913	2	…	8.4	1.16	…	…	…	…
1914	3	…	8.7	1.15	…	…	…	…
1915	4	…	8.4	1.14	…	…	…	…
1916	5	…	8.1	1.13	…	…	…	…
1917	6	…	8.3	1.03	…	…	…	…
1918	7	…	9.1	1.03	…	…	…	…
1919	8	…	8.7	1.03	…	…	…	…
1920	9	…	9.8	0.99	…	…	…	…
1921	10	…	9.2	0.94	…	…	…	…
1922	11	…	9.0	0.92	…	…	…	…
1923	12	…	8.8	0.88	…	…	…	…
1924	13	…	8.7	0.88	…	…	…	…
1925	14	…	8.7	0.87	…	…	…	…
1926	昭和 元 年	…	8.3	0.83	…	…	…	…
1927	2	…	7.9	0.82	…	…	…	…
1928	3	…	8.0	0.78	…	…	…	…
1929	4	…	7.8	0.81	…	…	…	…
1930	5	…	7.9	0.80	…	…	…	…
1931	6	…	7.6	0.77	…	…	…	…
1932	7	…	7.8	0.77	…	…	…	…
1933	8	…	7.2	0.73	…	…	…	…
1934	9	…	7.5	0.71	…	…	…	…
1935	10	…	8.0	0.70	…	…	…	…
1936	11	…	7.8	0.66	…	…	…	…
1937	12	…	9.5	0.66	…	…	…	…
1938	13	…	7.6	0.63	…	…	…	…
1939	14	…	7.8	0.64	…	…	…	…
1940	15	…	9.3	0.68	…	…	…	…
1941	16	…	11.0	0.69	…	…	…	…
1942	17	…	9.4	0.64	…	…	…	…
1943	18	…	10.2	0.68	…	…	…	…
1947	22	…	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	…
1948	23	…	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	…
1949	24	…	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	…
1950	25	…	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	…	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	…	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	…	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	…	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注： *印は概数による率である。

2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。

4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

(参考)

年 次		周産期 死亡率 ²⁾ (出産千対)	婚姻率 (人 口 千 対)	離婚率	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 ³⁾ (人 口 千 対)		周産期 死亡率 ⁴⁾ (出生千対)
						男	女	
1955	昭和 30 年	…	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	…	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	…	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	…	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	…	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	…	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	…	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	…	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	…	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	…	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	…	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	…	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	…	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	…	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	…	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	…	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	…	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	…	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	…	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	…	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	…	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	…	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	…	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	…	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元 年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	19	4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0
2008	20	4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9
2009	* 21	4.2	5.6	2.01	1.37	…	…	2.9

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	17	18	19	20	* 21
総 数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 092 674	1 089 818	1 091 156	1 070 025
～14歳	23	37	42	41	39	38	67
15～19	17 854	16 075	16 531	15 933	15 211	15 427	14 620
20～24	247 341	193 514	128 135	130 230	126 180	124 691	116 807
25～29	682 885	492 714	339 328	335 771	324 041	317 753	307 764
30～34	381 466	371 773	404 700	417 776	412 611	404 771	389 788
35～39	93 501	100 053	153 440	170 775	186 568	200 328	209 703
40～44	8 224	12 472	19 750	21 608	24 553	27 522	30 566
45～49	244	414	564	522	590	594	684
50歳以上	1	－	34	9	19	24	20

注： *印は概数である。

1) 総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	17	18	19	20	* 21
総 数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 092 674	1 089 818	1 091 156	1 070 025
第 1 子	602 005	567 530	512 412	524 581	519 767	517 724	512 739
第 2 子	562 920	428 394	399 307	408 531	403 656	402 152	390 068
第3子以上	266 652	191 140	150 811	159 562	166 395	171 280	167 218

注： *印は概数である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総 数 (3-1)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	18	19	20	* 21
総 数	625.5	741.9	858.8	859.6	879.0	907.1	907.6
0～4歳	145.3	118.3	73.9	72.3	70.8	70.1	65.0
5～9	21.1	19.0	11.1	10.4	9.5	9.7	9.5
10～14	16.5	15.9	9.8	9.6	9.0	8.7	8.3
15～19	47.2	39.6	27.6	28.0	25.8	26.7	24.4
20～24	57.1	52.1	46.9	44.5	43.4	43.3	44.3
25～29	60.9	53.4	51.5	50.7	48.2	49.1	48.9
30～34	74.5	64.4	62.0	59.6	59.1	60.1	58.7
35～39	104.2	88.7	86.9	81.3	83.1	81.6	81.7
40～44	175.6	143.7	128.5	128.5	124.8	121.7	123.1
45～49	277.1	228.9	205.9	201.6	196.4	191.6	189.3
50～54	455.6	371.5	331.3	316.5	308.5	301.7	296.5
55～59	654.3	565.3	484.9	475.0	480.5	472.6	462.8
60～64	948.7	917.4	730.1	720.1	694.9	682.6	658.5
65～69	1 554.0	1 397.9	1 088.9	1 045.2	1 027.2	1 006.3	983.5
70～74	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 729.2	1 692.5	1 671.5	1 592.2
75～79	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 952.9	2 881.4	2 873.4	2 754.0
80～84	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 895.6	4 890.0	4 920.6	4 771.8
85～89	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 626.6	8 487.9	8 457.9	8 176.0
90～94	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 694.6	14 583.4	14 782.9	14 466.6
95～99	…	…	23 894.8	22 968.5	22 685.8	22 724.2	21 731.1
100歳以上	…	…	37 771.1	35 655.2	33 365.7	33 748.8	31 145.8

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	18	19	20	* 21
総 数	690.6	822.9	949.4	944.3	963.7	991.0	993.0
0～4歳	158.8	129.0	80.6	77.2	75.6	73.5	70.9
5～9	26.6	22.6	13.5	11.5	10.5	10.8	10.1
10～14	19.9	18.8	11.8	11.7	10.7	10.9	9.4
15～19	69.8	55.4	36.4	37.0	34.2	34.1	32.3
20～24	81.4	73.1	62.4	59.4	57.9	58.2	59.5
25～29	80.7	73.3	70.1	66.3	63.5	64.9	63.7
30～34	93.3	81.7	80.5	78.2	78.1	77.3	76.2
35～39	131.9	113.5	113.1	105.3	107.6	104.0	104.6
40～44	227.7	183.8	169.3	167.3	164.4	157.8	160.0
45～49	371.7	295.2	275.6	268.9	259.1	251.4	248.0
50～54	624.6	498.6	448.1	424.5	411.5	404.9	400.7
55～59	906.7	784.7	675.9	660.5	669.7	658.7	649.7
60～64	1 314.9	1 311.6	1 046.2	1 041.4	996.9	977.6	945.6
65～69	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 494.0	1 476.4	1 455.4	1 424.8
70～74	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 490.6	2 439.3	2 398.1	2 294.6
75～79	6 581.0	5 461.1	4 401.7	4 288.6	4 176.2	4 169.7	4 002.5
80～84	10 799.1	9 484.5	7 328.5	6 975.0	7 010.0	7 040.1	6 856.4
85～89	18 136.2	15 648.6	12 638.9	12 103.0	11 905.8	11 856.9	11 424.9
90～94	25 429.3	26 734.7	20 217.3	19 467.9	19 278.2	19 624.7	19 205.9
95～99	…	…	30 937.2	29 600.0	28 444.0	28 380.0	27 045.0
100歳以上	…	…	46 157.9	43 350.0	39 080.0	39 683.3	34 157.1

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	18	19	20	* 21
総 数	562.7	664.0	772.3	778.9	798.4	827.1	826.4
0～4歳	131.2	107.2	66.9	67.1	65.8	66.4	58.8
5～9	15.3	15.2	8.6	9.3	8.4	8.6	8.8
10～14	13.1	12.9	7.8	7.4	7.2	6.4	7.1
15～19	23.7	22.9	18.4	18.5	17.0	18.9	16.2
20～24	31.8	30.2	30.5	28.9	28.1	27.6	28.2
25～29	40.7	32.8	32.2	34.5	32.3	32.6	33.5
30～34	55.6	46.6	43.1	40.4	39.4	42.3	40.5
35～39	76.0	63.5	60.2	56.7	58.0	58.7	58.0
40～44	124.1	103.2	86.9	88.9	84.3	84.7	85.4
45～49	184.6	162.1	135.8	133.9	133.2	131.0	129.7
50～54	289.7	246.8	214.9	208.9	205.7	198.6	192.6
55～59	414.9	353.7	297.4	293.0	295.3	290.6	279.8
60～64	663.0	548.9	430.7	416.0	408.0	401.4	383.8
65～69	1 106.4	864.2	659.0	634.2	615.9	594.7	580.2
70～74	1 998.4	1 513.4	1 130.4	1 081.6	1 054.1	1 048.0	987.0
75～79	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 941.5	1 894.7	1 881.7	1 793.0
80～84	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 683.6	3 599.7	3 586.8	3 436.6
85～89	13 067.1	10 072.4	7 364.1	7 154.7	7 049.9	7 021.9	6 763.3
90～94	22 490.8	19 574.7	13 480.3	13 113.0	13 055.3	13 193.7	12 925.8
95～99	…	…	22 176.4	21 397.9	21 314.8	21 279.2	20 465.9
100歳以上	…	…	36 310.6	35 858.3	32 413.3	32 731.4	30 631.7

注：*印は概数である。

- 1) 総数には年齢不詳を含む。
- 2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因簡単分類別

（4－1）

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合（%）
		*平成21年	平成20年	*平成21年	平成20年	*平成21年
	総 数	1 141 920	1 142 407	907.6	907.1	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	24 922	24 904	19.8	19.8	2.2
01100	腸管感染症	2 105	2 182	1.7	1.7	0.2
01200	結 核	2 155	2 220	1.7	1.8	0.2
01201	呼吸器結核	1 932	1 993	1.5	1.6	0.2
01202	その他の結核	223	227	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	10 229	9 688	8.1	7.7	0.9
01400	ウイルス肝炎	5 661	5 855	4.5	4.6	0.5
01401	B型ウイルス肝炎	633	641	0.5	0.5	0.1
01402	C型ウイルス肝炎	4 721	4 903	3.8	3.9	0.4
01403	その他のウイルス肝炎	307	311	0.2	0.2	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	61	54	0.0	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 711	4 905	3.7	3.9	0.4
02000	新 生 物	353 778	352 953	281.2	280.2	31.0
02100	悪性新生物	343 954	342 963	273.4	272.3	30.1
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物	6 544	6 583	5.2	5.2	0.6
02102	食道の悪性新生物	11 708	11 746	9.3	9.3	1.0
02103	胃の悪性新生物	50 000	50 160	39.7	39.8	4.4
02104	結腸の悪性新生物	28 675	28 804	22.8	22.9	2.5
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	13 732	14 207	10.9	11.3	1.2
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	32 714	33 665	26.0	26.7	2.9
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	17 596	17 311	14.0	13.7	1.5
02108	膵の悪性新生物	26 764	25 976	21.3	20.6	2.3
02109	喉頭の悪性新生物	982	982	0.8	0.8	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物	67 568	66 849	53.7	53.1	5.9
02111	皮膚の悪性新生物	1 315	1 334	1.0	1.1	0.1
02112	乳房の悪性新生物	12 004	11 890	9.5	9.4	1.1
02113	子宮の悪性新生物 ¹⁾	5 523	5 709	8.6	8.8	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 ¹⁾	4 602	4 599	7.1	7.1	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 ²⁾	10 033	9 989	16.4	16.3	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	6 622	6 467	5.3	5.1	0.6

注：*印は概数である。

1) 女性人口10万に対する率である。

2) 男性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成21年	平成20年	*平成21年	平成20年	*平成21年
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 832	1 782	1.5	1.4	0.2
02118	悪性リンパ腫	9 855	9 399	7.8	7.5	0.9
02119	白 血 病	7 890	7 675	6.3	6.1	0.7
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 133	4 191	3.3	3.3	0.4
02121	その他の悪性新生物	23 862	23 645	19.0	18.8	2.1
02200	その他の新生物	9 824	9 990	7.8	7.9	0.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 640	2 698	2.1	2.1	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 184	7 292	5.7	5.8	0.6
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 022	4 059	3.2	3.2	0.4
03100	貧 血	1 646	1 679	1.3	1.3	0.1
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 376	2 380	1.9	1.9	0.2
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	20 530	21 102	16.3	16.8	1.8
04100	糖 尿 病	13 961	14 462	11.1	11.5	1.2
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	6 569	6 640	5.2	5.3	0.6
05000	精神及び行動の障害	7 075	6 584	5.6	5.2	0.6
05100	血管性及び詳細不明の認知症	5 626	5 159	4.5	4.1	0.5
05200	その他の精神及び行動の障害	1 449	1 425	1.2	1.1	0.1
06000	神経系の疾患	17 220	16 607	13.7	13.2	1.5
06100	髄 膜 炎	318	344	0.3	0.3	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1 947	1 782	1.5	1.4	0.2
06300	パーキンソン病	4 575	4 590	3.6	3.6	0.4
06400	アルツハイマー病	3 457	3 095	2.7	2.5	0.3
06500	その他の神経系の疾患	6 923	6 796	5.5	5.4	0.6
07000	眼及び付属器の疾患	6	10	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	17	34	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	329 441	334 971	261.8	266.0	28.8
09100	高血圧性疾患	6 222	6 264	4.9	5.0	0.5
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 375	3 528	2.7	2.8	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	2 847	2 736	2.3	2.2	0.2
09200	心疾患（高血圧性を除く）	180 602	181 928	143.5	144.4	15.8
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 294	2 433	1.8	1.9	0.2
09202	急性心筋梗塞	43 179	43 580	34.3	34.6	3.8
09203	その他の虚血性心疾患	32 209	33 002	25.6	26.2	2.8
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	8 368	8 465	6.7	6.7	0.7

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対）、死因簡単分類別

（4－3）

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成21年	平成20年	*平成21年	平成20年	*平成21年
09205	心 筋 症	3 578	3 683	2.8	2.9	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	23 196	23 510	18.4	18.7	2.0
09207	心 不 全	63 084	62 708	50.1	49.8	5.5
09208	その他の心疾患	4 694	4 547	3.7	3.6	0.4
09300	脳血管疾患	122 274	127 023	97.2	100.9	10.7
09301	くも膜下出血	13 911	14 075	11.1	11.2	1.2
09302	脳内出血	32 982	33 682	26.2	26.7	2.9
09303	脳 梗 塞	72 199	76 016	57.4	60.4	6.3
09304	その他の脳血管疾患	3 182	3 250	2.5	2.6	0.3
09400	大動脈瘤及び解離	13 866	13 440	11.0	10.7	1.2
09500	その他の循環器系疾患	6 477	6 316	5.1	5.0	0.6
10000	呼吸器系の疾患	174 866	175 976	139.0	139.7	15.3
10100	インフルエンザ	624	272	0.5	0.2	0.1
10200	肺 炎	111 922	115 317	89.0	91.6	9.8
10300	急性気管支炎	597	665	0.5	0.5	0.1
10400	慢性閉塞性肺疾患	15 339	15 520	12.2	12.3	1.3
10500	喘 息	2 137	2 348	1.7	1.9	0.2
10600	その他の呼吸器系の疾患	44 247	41 854	35.2	33.2	3.9
11000	消化器系の疾患	44 034	43 802	35.0	34.8	3.9
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 139	3 283	2.5	2.6	0.3
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 882	5 796	4.7	4.6	0.5
11300	肝 疾 患	15 937	16 268	12.7	12.9	1.4
11301	肝 硬 変（アルコール性を除く）	8 652	8 928	6.9	7.1	0.8
11302	その他の肝疾患	7 285	7 340	5.8	5.8	0.6
11400	その他の消化器系の疾患	19 076	18 455	15.2	14.7	1.7
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 153	1 163	0.9	0.9	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 167	5 219	4.1	4.1	0.5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	30 980	30 495	24.6	24.2	2.7
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 648	3 490	2.9	2.8	0.3
14200	腎 不 全	22 724	22 517	18.1	17.9	2.0
14201	急性腎不全	4 019	4 001	3.2	3.2	0.4
14202	慢性腎不全	13 603	13 296	10.8	10.6	1.2
14203	詳細不明の腎不全	5 102	5 220	4.1	4.1	0.4
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	4 608	4 488	3.7	3.6	0.4

(4-4)

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成21年	平成20年	*平成21年	平成20年	*平成21年
15000	妊娠, 分娩及び産じょく ¹⁾	60	41	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	698	757	0.6	0.6	0.1
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	73	70	0.1	0.1	0.0
16200	出産外傷	2	7	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	366	383	0.3	0.3	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	54	66	0.0	0.1	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	99	128	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	104	103	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 060	2 186	1.6	1.7	0.2
17100	神経系の先天奇形	83	117	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	1 049	1 076	0.8	0.9	0.1
17201	心臓の先天奇形	735	789	0.6	0.6	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	314	287	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	94	96	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	552	580	0.4	0.5	0.0
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	282	317	0.2	0.3	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	52 605	48 021	41.8	38.1	4.6
18100	老 衰	38 649	35 975	30.7	28.6	3.4
18200	乳幼児突然死症候群	156	168	0.1	0.1	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	13 800	11 878	11.0	9.4	1.2
20000	傷病及び死亡の外因	73 286	73 523	58.2	58.4	6.4
20100	不慮の事故	37 583	38 153	29.9	30.3	3.3
20101	交通事故	7 231	7 499	5.7	6.0	0.6
20102	転倒・転落	6 890	7 170	5.5	5.7	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	6 414	6 464	5.1	5.1	0.6
20104	不慮の窒息	9 254	9 419	7.4	7.5	0.8
20105	煙, 火及び火炎への曝露	1 387	1 452	1.1	1.2	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	933	895	0.7	0.7	0.1
20107	その他の不慮の事故	5 474	5 254	4.4	4.2	0.5
20200	自 殺	30 649	30 229	24.4	24.0	2.7
20300	他 殺	474	546	0.4	0.4	0.0
20400	その他の外因	4 580	4 595	3.6	3.6	0.4
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-

第 7 表 死因順位¹⁾（1～5 位）別死亡数・死亡率（人口 1 0 万対），性・

総 数（3-1）

年 齢	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総 数 ³⁾	悪 性 新 生 物	343 954	273.4	心 疾 患	180 602	143.5	脳 血 管 疾 患	122 274	97.2
0 歳 ²⁾	先 天 奇 形 等	897	83.8	呼 吸 障 害 等	361	33.7	乳 幼 児 突 然 死 症 候 群	144	13.5
1～4	先 天 奇 形 等	160	3.8	不 慮 の 事 故	149	3.5	悪 性 新 生 物	87	2.0
5～9	不 慮 の 事 故	138	2.4	悪 性 新 生 物	111	2.0	心 疾 患	40	0.7
10～14	悪 性 新 生 物	95	1.6	不 慮 の 事 故	93	1.6	自 殺	55	0.9
15～19	自 殺	457	7.6	不 慮 の 事 故	456	7.6	悪 性 新 生 物	143	2.4
20～24	自 殺	1 472	22.0	不 慮 の 事 故	566	8.5	悪 性 新 生 物	222	3.3
25～29	自 殺	1 732	23.8	不 慮 の 事 故	503	6.9	悪 性 新 生 物	339	4.7
30～34	自 殺	1 999	23.8	悪 性 新 生 物	802	9.6	不 慮 の 事 故	537	6.4
35～39	自 殺	2 471	25.9	悪 性 新 生 物	1 693	17.8	心 疾 患	772	8.1
40～44	悪 性 新 生 物	2 792	33.1	自 殺	2 407	28.6	心 疾 患	1 237	14.7
45～49	悪 性 新 生 物	4 760	61.8	自 殺	2 462	32.0	心 疾 患	1 843	23.9
50～54	悪 性 新 生 物	9 080	118.7	心 疾 患	2 787	36.4	自 殺	2 761	36.1
55～59	悪 性 新 生 物	19 030	210.0	心 疾 患	5 041	55.6	脳 血 管 疾 患	3 500	38.6
60～64	悪 性 新 生 物	29 846	319.0	心 疾 患	7 438	79.5	脳 血 管 疾 患	5 066	54.1
65～69	悪 性 新 生 物	39 342	471.6	心 疾 患	10 070	120.7	脳 血 管 疾 患	6 756	81.0
70～74	悪 性 新 生 物	47 841	695.5	心 疾 患	14 209	206.6	脳 血 管 疾 患	10 120	147.1
75～79	悪 性 新 生 物	59 914	1 034.6	心 疾 患	22 596	390.2	脳 血 管 疾 患	16 874	291.4
80～84	悪 性 新 生 物	59 566	1 411.2	心 疾 患	32 470	769.2	脳 血 管 疾 患	23 307	552.2
85～89	悪 性 新 生 物	40 689	1 751.6	心 疾 患	35 543	1 530.0	肺 炎	26 491	1 140.4
90～94	心 疾 患	28 390	2 938.9	肺 炎	22 161	2 294.1	悪 性 新 生 物	20 356	2 107.2
95～99	心 疾 患	14 185	4 546.5	肺 炎	11 172	3 580.8	老 衰	10 449	3 349.0
100歳以上	老 衰	3 939	8 206.3	心 疾 患	2 914	6 070.8	肺 炎	2 450	5 104.2

注：1）〔1〕 乳児（0 歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。
〔2〕 死因名は次のように略称した。
心疾患←心疾患（高血圧性を除く）
先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常
呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
2） 0 歳の死亡率は出生 1 0 万に対する率である。
3） 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成21年						
第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	111 922	89.0	老 衰	38 649	30.7	総 数
不慮の事故	122	11.4	出血性障害等	99	9.3	0 歳
心 疾 患	64	1.5	肺 炎	42	1.0	1～4
その他の新生物	28	0.5	先 天 奇 形 等	28	0.5	5～9
その他の新生物	34	0.6	心 疾 患	29	0.5	10～14
心 疾 患	71	1.2	脳 血 管 疾 患	38	0.6	15～19
心 疾 患	169	2.5	脳 血 管 疾 患	42	0.6	20～24
心 疾 患	208	2.9	脳 血 管 疾 患	84	1.2	25～29
心 疾 患	407	4.8	脳 血 管 疾 患	177	2.1	30～34
不慮の事故	715	7.5	脳 血 管 疾 患	477	5.0	35～39
脳 血 管 疾 患	862	10.2	不慮の事故	728	8.6	40～44
脳 血 管 疾 患	1 346	17.5	不慮の事故	836	10.9	45～49
脳 血 管 疾 患	2 040	26.7	不慮の事故	1 098	14.4	50～54
自 殺	3 319	36.6	不慮の事故	1 738	19.2	55～59
自 殺	3 049	32.6	不慮の事故	2 250	24.0	60～64
肺 炎	3 258	39.1	不慮の事故	2 738	32.8	65～69
肺 炎	6 467	94.0	不慮の事故	3 615	52.6	70～74
肺 炎	13 184	227.7	不慮の事故	5 104	88.1	75～79
肺 炎	22 986	544.6	不慮の事故	6 181	146.4	80～84
脳 血 管 疾 患	24 010	1 033.6	老 衰	7 662	329.8	85～89
脳 血 管 疾 患	17 845	1 847.3	老 衰	12 142	1 256.9	90～94
脳 血 管 疾 患	8 206	2 630.1	悪 性 新 生 物	6 395	2 049.7	95～99
脳 血 管 疾 患	1 474	3 070.8	悪 性 新 生 物	818	1 704.2	100歳以上

第 7 表 死因順位¹⁾（1～5 位）別死亡数・死亡率（人口 1 0 万対），性・

男（3-2）

年 齢	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総 数 ³⁾	悪 性 新 生 物	206 260	336.3	心 疾 患	85 443	139.3	肺 炎	59 841	97.6
0 歳 ²⁾	先 天 奇 形 等	484	88.2	呼 吸 障 害 等	214	39.0	乳 幼 児 突 然 死 症 候 群	85	15.5
1～4	不 慮 の 事 故	91	4.2	先 天 奇 形 等	75	3.4	悪 性 新 生 物	37	1.7
5～9	不 慮 の 事 故	95	3.3	悪 性 新 生 物	56	1.9	心 疾 患	20	0.7
10～14	不 慮 の 事 故	61	2.0	悪 性 新 生 物	49	1.6	自 殺	34	1.1
15～19	不 慮 の 事 故	348	11.3	自 殺	297	9.7	悪 性 新 生 物	96	3.1
20～24	自 殺	1 029	29.9	不 慮 の 事 故	450	13.1	心 疾 患	132	3.8
25～29	自 殺	1 221	32.8	不 慮 の 事 故	368	9.9	心 疾 患	163	4.4
30～34	自 殺	1 429	33.5	不 慮 の 事 故	406	9.5	悪 性 新 生 物	367	8.6
35～39	自 殺	1 853	38.3	悪 性 新 生 物	705	14.6	心 疾 患	576	11.9
40～44	自 殺	1 807	42.4	悪 性 新 生 物	1 201	28.2	心 疾 患	946	22.2
45～49	悪 性 新 生 物	2 236	57.7	自 殺	1 948	50.2	心 疾 患	1 467	37.8
50～54	悪 性 新 生 物	5 010	131.0	心 疾 患	2 230	58.3	自 殺	2 179	57.0
55～59	悪 性 新 生 物	11 742	262.0	心 疾 患	4 075	90.9	自 殺	2 646	59.0
60～64	悪 性 新 生 物	19 814	433.2	心 疾 患	5 748	125.7	脳 血 管 疾 患	3 493	76.4
65～69	悪 性 新 生 物	26 589	667.4	心 疾 患	7 294	183.1	脳 血 管 疾 患	4 658	116.9
70～74	悪 性 新 生 物	32 355	1 016.2	心 疾 患	9 303	292.2	脳 血 管 疾 患	6 656	209.0
75～79	悪 性 新 生 物	39 563	1 571.2	心 疾 患	13 266	526.8	脳 血 管 疾 患	10 175	404.1
80～84	悪 性 新 生 物	36 123	2 191.9	心 疾 患	15 995	970.6	肺 炎	14 586	885.1
85～89	悪 性 新 生 物	19 601	2 784.2	肺 炎	13 219	1 877.7	心 疾 患	12 699	1 803.8
90～94	肺 炎	8 881	3 747.3	悪 性 新 生 物	8 157	3 441.8	心 疾 患	7 639	3 223.2
95～99	肺 炎	3 351	5 585.0	心 疾 患	2 990	4 983.3	悪 性 新 生 物	2 063	3 438.3
100歳以上	肺 炎	532	7 600.0	老 衰	496	7 085.7	心 疾 患	405	5 785.7

注：1）〔1〕 乳児（0 歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。
〔2〕 死因名は次のように略称した。
心疾患←心疾患（高血圧性を除く）
先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常
呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
2） 0 歳の死亡率は出生 1 0 万に対する率である。
3） 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成21年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳 血 管 疾 患	59 243	96.6	不 慮 の 事 故	22 502	36.7	総 数
不 慮 の 事 故	71	12.9	出 血 性 障 害 等	51	9.3	0 歳
心 疾 患	37	1.7	肺 炎	25	1.1	1～4
先 天 奇 形 等	15	0.5	肺 炎	11	0.4	5～9
その他の新生物	22	0.7	心 疾 患	16	0.5	10～14
心 疾 患	52	1.7	脳 血 管 疾 患	19	0.6	15～19
悪 性 新 生 物	127	3.7	その他の新生物	21	0.6	20～24
悪 性 新 生 物	153	4.1	脳 血 管 疾 患	55	1.5	25～29
心 疾 患	308	7.2	脳 血 管 疾 患	122	2.9	30～34
不 慮 の 事 故	536	11.1	脳 血 管 疾 患	343	7.1	35～39
脳 血 管 疾 患	619	14.5	不 慮 の 事 故	578	13.6	40～44
脳 血 管 疾 患	932	24.0	不 慮 の 事 故	648	16.7	45～49
脳 血 管 疾 患	1 384	36.2	肝 疾 患	843	22.1	50～54
脳 血 管 疾 患	2 476	55.2	不 慮 の 事 故	1 317	29.4	55～59
自 殺	2 338	51.1	不 慮 の 事 故	1 631	35.7	60～64
肺 炎	2 512	63.1	不 慮 の 事 故	1 947	48.9	65～69
肺 炎	4 774	149.9	不 慮 の 事 故	2 390	75.1	70～74
肺 炎	9 249	367.3	不 慮 の 事 故	3 151	125.1	75～79
脳 血 管 疾 患	12 084	733.3	慢性閉塞性肺疾患	3 567	216.4	80～84
脳 血 管 疾 患	9 140	1 298.3	慢性閉塞性肺疾患	2 593	368.3	85～89
脳 血 管 疾 患	5 172	2 182.3	老 衰	2 776	1 171.3	90～94
老 衰	1 822	3 036.7	脳 血 管 疾 患	1 653	2 755.0	95～99
脳 血 管 疾 患	211	3 014.3	悪 性 新 生 物	197	2 814.3	100歳以上

第 7 表 死因順位¹⁾（1～5 位）別死亡数・死亡率（人口 1 0 万対），性・

女（3-3）

年 齢	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総 数 ³⁾	悪 性 新 生 物	137 694	213.5	心 疾 患	95 159	147.6	脳 血 管 疾 患	63 031	97.8
0 歳 ²⁾	先 天 奇 形 等	413	79.3	呼 吸 障 害 等	147	28.2	乳 幼 児 突 然 死 症 候 群	59	11.3
1～4	先 天 奇 形 等	85	4.1	不 慮 の 事 故	58	2.8	悪 性 新 生 物	50	2.4
5～9	悪 性 新 生 物	55	2.0	不 慮 の 事 故	43	1.6	心 疾 患	20	0.7
10～14	悪 性 新 生 物	46	1.6	不 慮 の 事 故	32	1.1	自 殺	21	0.7
15～19	自 殺	160	5.5	不 慮 の 事 故	108	3.7	悪 性 新 生 物	47	1.6
20～24	自 殺	443	13.7	不 慮 の 事 故	116	3.6	悪 性 新 生 物	95	2.9
25～29	自 殺	511	14.4	悪 性 新 生 物	186	5.2	不 慮 の 事 故	135	3.8
30～34	自 殺	570	13.8	悪 性 新 生 物	435	10.5	不 慮 の 事 故	131	3.2
35～39	悪 性 新 生 物	988	21.0	自 殺	618	13.2	心 疾 患	196	4.2
40～44	悪 性 新 生 物	1 591	38.2	自 殺	600	14.4	心 疾 患	291	7.0
45～49	悪 性 新 生 物	2 524	66.0	自 殺	514	13.4	脳 血 管 疾 患	414	10.8
50～54	悪 性 新 生 物	4 070	106.3	脳 血 管 疾 患	656	17.1	自 殺	582	15.2
55～59	悪 性 新 生 物	7 288	159.2	脳 血 管 疾 患	1 024	22.4	心 疾 患	966	21.1
60～64	悪 性 新 生 物	10 032	209.8	心 疾 患	1 690	35.3	脳 血 管 疾 患	1 573	32.9
65～69	悪 性 新 生 物	12 753	292.7	心 疾 患	2 776	63.7	脳 血 管 疾 患	2 098	48.2
70～74	悪 性 新 生 物	15 486	419.1	心 疾 患	4 906	132.8	脳 血 管 疾 患	3 464	93.7
75～79	悪 性 新 生 物	20 351	621.6	心 疾 患	9 330	285.0	脳 血 管 疾 患	6 699	204.6
80～84	悪 性 新 生 物	23 443	911.1	心 疾 患	16 475	640.3	脳 血 管 疾 患	11 223	436.2
85～89	心 疾 患	22 844	1 411.0	悪 性 新 生 物	21 088	1 302.5	脳 血 管 疾 患	14 870	918.5
90～94	心 疾 患	20 751	2 846.5	肺 炎	13 280	1 821.7	脳 血 管 疾 患	12 673	1 738.4
95～99	心 疾 患	11 195	4 442.5	老 衰	8 627	3 423.4	肺 炎	7 821	3 103.6
100歳以上	老 衰	3 443	8 397.6	心 疾 患	2 509	6 119.5	肺 炎	1 918	4 678.0

注：1）〔1〕 乳児（0 歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。
〔2〕 死因名は次のように略称した。
心疾患←心疾患（高血圧性を除く）
先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常
呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
2） 0 歳の死亡率は出生 1 0 万に対する率である。
3） 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成21年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	52 081	80.8	老 衰	29 356	45.5	総 数
不 慮 の 事 故	51	9.8	出 血 性 障 害 等	48	9.2	0 歳
心 疾 患	27	1.3	肺 炎	17	0.8	1～4
その他の新生物	18	0.7	インフルエンザ	16	0.6	5～9
心 疾 患	13	0.5	その他の新生物	12	0.4	10～14
心 疾 患	19	0.6	脳 血 管 疾 患	19	0.6	15～19
心 疾 患	37	1.1	脳 血 管 疾 患	22	0.7	20～24
心 疾 患	45	1.3	脳 血 管 疾 患	29	0.8	25～29
心 疾 患	99	2.4	脳 血 管 疾 患	55	1.3	30～34
不 慮 の 事 故	179	3.8	脳 血 管 疾 患	134	2.9	35～39
脳 血 管 疾 患	243	5.8	不 慮 の 事 故	150	3.6	40～44
心 疾 患	376	9.8	不 慮 の 事 故	188	4.9	45～49
心 疾 患	557	14.6	不 慮 の 事 故	266	6.9	50～54
自 殺	673	14.7	不 慮 の 事 故	421	9.2	55～59
自 殺	711	14.9	不 慮 の 事 故	619	12.9	60～64
不 慮 の 事 故	791	18.2	自 殺	783	18.0	65～69
肺 炎	1 693	45.8	不 慮 の 事 故	1 225	33.2	70～74
肺 炎	3 935	120.2	不 慮 の 事 故	1 953	59.7	75～79
肺 炎	8 400	326.5	不 慮 の 事 故	2 721	105.8	80～84
肺 炎	13 272	819.8	老 衰	5 534	341.8	85～89
悪 性 新 生 物	12 199	1 673.4	老 衰	9 366	1 284.8	90～94
脳 血 管 疾 患	6 553	2 600.4	悪 性 新 生 物	4 332	1 719.0	95～99
脳 血 管 疾 患	1 263	3 080.5	悪 性 新 生 物	621	1 514.6	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（19大都市再掲）別

都道府県 ¹⁾	出生数			死亡数			(再掲)			
							乳児死亡数			新生児
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	死亡数
全国	1 070 025	548 989	521 036	1 141 920	609 079	532 841	2 556	1 441	1 115	1 254
北海道	40 163	20 647	19 516	53 218	28 871	24 347	89	52	37	40
青森	9 523	4 873	4 650	15 385	8 310	7 075	33	19	14	17
岩手	9 904	5 090	4 814	15 411	8 154	7 257	35	24	11	19
宮城	18 988	9 769	9 219	20 809	11 041	9 768	38	19	19	20
秋田	7 013	3 594	3 419	13 866	7 319	6 547	17	8	9	5
山形	8 715	4 491	4 224	13 728	7 031	6 697	27	13	14	13
福島	16 326	8 350	7 976	21 568	11 519	10 049	47	28	19	17
茨城	24 209	12 445	11 764	27 805	15 009	12 796	53	30	23	22
栃木	17 004	8 698	8 306	18 777	9 992	8 785	43	22	21	26
群馬	16 310	8 465	7 845	19 421	10 322	9 099	44	31	13	30
埼玉	59 724	30 754	28 970	52 370	29 120	23 250	140	82	58	65
千葉	51 840	26 775	25 065	47 812	26 511	21 301	137	78	59	73
東京	106 613	54 736	51 877	98 295	53 541	44 754	246	135	111	119
神奈川	78 054	39 920	38 134	63 750	35 460	28 290	187	93	94	101
新潟	17 946	9 240	8 706	25 147	13 087	12 060	35	24	11	16
富山	8 426	4 274	4 152	11 480	5 962	5 518	20	14	6	12
石川	9 849	5 009	4 840	11 245	5 843	5 402	19	10	9	8
福井	7 042	3 629	3 413	8 187	4 177	4 010	15	10	5	4
山梨	6 621	3 421	3 200	8 587	4 454	4 133	18	8	10	11
長野	17 311	8 920	8 391	22 132	11 483	10 649	38	24	14	22
岐阜	17 327	8 759	8 568	19 402	10 297	9 105	38	20	18	15
静岡	31 901	16 389	15 512	34 255	18 383	15 872	65	36	29	30
愛知	69 767	35 720	34 047	55 186	29 975	25 211	183	94	89	79
三重	15 614	7 983	7 631	17 591	9 154	8 437	37	20	17	17
滋賀	13 151	6 725	6 426	11 036	5 687	5 349	31	17	14	17
京都	21 059	10 906	10 153	23 189	12 011	11 178	44	27	17	23
大阪	75 248	38 691	36 557	73 137	40 070	33 067	176	103	73	86
兵庫	47 590	24 332	23 258	48 864	25 903	22 961	97	48	49	48
奈良	10 757	5 593	5 164	12 138	6 407	5 731	43	29	14	21
和歌山	7 516	3 845	3 671	11 735	6 108	5 627	18	9	9	11
鳥取	4 876	2 485	2 391	6 636	3 391	3 245	9	6	3	7
島根	5 601	2 891	2 710	8 854	4 548	4 306	11	10	1	6
岡山	16 387	8 386	8 001	18 948	9 923	9 025	36	23	13	18
広島	25 596	13 157	12 439	26 992	14 022	12 970	62	36	26	33
山口	11 312	5 785	5 527	16 996	8 701	8 295	27	14	13	13
徳島	5 898	3 030	2 868	8 720	4 521	4 199	18	9	9	13
香川	8 366	4 267	4 099	10 639	5 477	5 162	23	13	10	11
愛媛	11 507	5 825	5 682	15 669	8 140	7 529	29	19	10	11
高知	5 415	2 806	2 609	9 437	4 820	4 617	9	7	2	4
福岡	46 084	23 374	22 710	44 879	23 320	21 559	107	63	44	48
佐賀	7 518	3 818	3 700	8 831	4 448	4 383	11	5	6	7
長崎	11 838	6 146	5 692	15 491	7 910	7 581	40	21	19	22
熊本	16 221	8 360	7 861	18 507	9 432	9 075	33	21	12	20
大分	9 961	5 035	4 926	12 528	6 520	6 008	27	17	10	15
宮崎	10 171	5 210	4 961	11 959	6 092	5 867	24	15	9	9
鹿児島	14 920	7 791	7 129	19 498	9 632	9 866	31	13	18	14
沖縄	16 744	8 531	8 213	9 925	5 371	4 554	41	21	20	14
外国	99	49	50	184	124	60	3	—	3	—
不詳	・	・	・	1 701	1 486	215	2	1	1	2
(再掲)										
東京都区部	72 743	37 330	35 413	67 544	37 034	30 510	157	86	71	80
札幌市	14 506	7 401	7 105	14 506	7 932	6 574	33	19	14	14
仙台市	9 291	4 763	4 528	6 894	3 738	3 156	20	8	12	10
さいたま市	10 869	5 556	5 313	8 037	4 532	3 505	25	12	13	16
千葉市	7 996	4 096	3 900	6 636	3 718	2 918	20	10	10	6
横浜市	32 110	16 382	15 728	25 546	14 264	11 282	81	44	37	52
川崎市	14 276	7 338	6 938	8 783	5 078	3 705	32	15	17	21
新潟市	6 422	3 265	3 157	7 055	3 741	3 314	13	11	2	6
静岡市	5 746	3 000	2 746	6 564	3 561	3 003	11	8	3	2
浜松市	7 118	3 650	3 468	6 672	3 588	3 084	17	9	8	10
名古屋市	20 005	10 209	9 796	18 333	10 070	8 263	63	36	27	30
京都市	11 447	5 935	5 512	12 860	6 562	6 298	14	8	6	7
大阪市	22 737	11 716	11 021	24 433	13 659	10 774	59	31	28	28
堺市	7 546	3 804	3 742	6 797	3 646	3 151	12	4	8	7
神戸市	12 730	6 480	6 250	13 147	7 020	6 127	20	9	11	10
岡山市 ²⁾	4 975	2 510	2 465	4 096	2 160	1 936	16	9	7	10
広島市	11 435	5 919	5 516	8 642	4 497	4 145	30	18	12	16
北九州市	8 415	4 257	4 158	10 009	5 310	4 699	19	10	9	8
福岡市	14 177	7 267	6 910	9 289	4 923	4 366	34	25	9	14

注：1) 都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

2) 岡山市は、平成21年4月1日から政令指定都市となったため4月分からの累計である。

自 然 増 減 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 ¹⁾
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早期新生児 死亡			
△ 71 895	27 021	12 218	14 803	4 517	3 643	874	707 824	253 408	全 国
△ 13 055	1 361	569	792	177	146	31	28 271	12 295	北 海 道
△ 5 862	290	139	151	46	32	14	6 067	2 769	青 森 県
△ 5 507	269	127	142	56	40	16	5 899	2 429	岩 手 県
△ 1 821	529	218	311	74	60	14	12 217	4 523	宮 城 県
△ 6 853	190	84	106	32	28	4	4 364	1 709	秋 田 県
△ 5 013	247	104	143	37	27	10	5 258	1 947	山 形 県
△ 5 242	474	240	234	80	65	15	9 767	3 993	福 島 県
△ 3 596	629	269	360	94	77	17	15 287	5 627	茨 城 県
△ 1 773	399	182	217	70	49	21	10 688	3 888	栃 木 県
△ 3 111	423	197	226	82	58	24	10 054	3 837	群 馬 県
7 354	1 402	683	719	235	190	45	39 400	14 585	埼 玉 県
4 028	1 222	676	546	267	213	54	35 671	12 495	千 葉 県
8 318	2 481	1 114	1 367	420	341	79	91 061	26 817	東 京 都
14 304	1 760	956	804	379	311	68	54 981	17 765	神 奈 川 県
△ 7 201	442	204	238	72	59	13	10 837	3 364	新 潟 県
△ 3 054	205	108	97	43	33	10	5 024	1 699	富 山 県
△ 1 396	207	124	83	38	34	4	5 887	1 863	石 川 県
△ 1 145	165	66	99	20	17	3	4 017	1 327	福 井 県
△ 1 966	169	75	94	29	23	6	4 226	1 658	山 梨 県
△ 4 821	405	168	237	63	44	19	10 744	3 878	長 野 県
△ 2 075	358	186	172	82	73	9	10 365	3 534	岐 阜 県
△ 2 354	731	353	378	110	94	16	20 724	7 356	静 岡 県
14 581	1 520	718	802	311	265	46	45 790	14 514	愛 知 県
△ 1 977	339	157	182	53	43	10	9 720	3 438	三 重 県
2 115	292	160	132	53	39	14	7 771	2 470	滋 賀 県
△ 2 130	432	186	246	77	62	15	13 642	5 054	京 都 府
2 111	1 897	812	1 085	293	245	48	51 730	20 752	大 阪 府
△ 1 274	1 134	505	629	189	158	31	29 980	10 808	兵 庫 県
△ 1 381	257	119	138	56	40	16	6 584	2 612	奈 良 県
△ 4 219	191	76	115	39	32	7	4 708	2 028	和 歌 山 県
△ 1 760	138	61	77	20	13	7	2 758	1 150	鳥 取 県
△ 3 253	144	67	77	26	24	2	3 220	1 127	島 根 県
△ 2 561	461	180	281	67	53	14	10 059	3 593	岡 山 県
△ 1 396	582	249	333	112	87	25	15 913	5 503	広 島 県
△ 5 684	304	134	170	46	37	9	7 008	2 697	山 口 県
△ 2 822	141	63	78	23	13	10	3 692	1 518	徳 島 県
△ 2 273	214	128	86	29	22	7	5 140	1 964	香 川 県
△ 4 162	390	137	253	54	45	9	6 946	2 817	愛 媛 県
△ 4 022	180	54	126	18	14	4	3 306	1 596	高 知 県
1 205	1 342	502	840	186	153	33	29 420	11 122	福 岡 県
△ 1 313	180	71	109	24	18	6	4 139	1 489	佐 賀 県
△ 3 653	358	156	202	51	40	11	6 855	2 564	長 崎 県
△ 2 286	475	159	316	57	40	17	9 100	3 458	熊 本 県
△ 2 567	282	112	170	46	34	12	6 136	2 378	大 分 県
△ 1 788	351	121	230	37	31	6	5 934	2 492	宮 崎 県
△ 4 578	466	192	274	60	50	10	8 475	3 327	鹿 児 島 県
6 819	580	251	329	80	69	11	8 989	3 579	沖 縄 県
△ 85	8	4	4	1	1	-	・	・	外 国
・	5	2	3	3	1	2	・	・	不 詳
5 199	1 759	783	976	291	237	54	67 614	19 147	(再 掲) 東 京 都 区 部
0	468	175	293	59	50	9	11 225	4 596	札 幌 市
2 397	230	106	124	27	20	7	6 442	1 983	仙 台 市
2 832	224	98	126	43	31	12	7 336	2 281	さい たま 市
1 360	188	107	81	40	35	5	5 467	1 971	千 葉 市
6 564	689	370	319	163	125	38	22 586	7 134	横 浜 市
5 493	302	181	121	77	64	13	10 773	2 713	川 崎 市
△ 633	166	74	92	25	19	6	4 052	1 234	新 潟 市
△ 818	155	76	79	18	18	-	3 798	1 326	静 岡 市
446	152	71	81	25	19	6	4 766	1 493	浜 松 市
1 672	441	198	243	86	70	16	14 937	4 960	名 古 屋 市
△ 1 413	241	95	146	39	32	7	8 200	2 966	京 都 市
△ 1 696	630	255	375	75	64	11	18 948	7 323	大 阪 市
749	183	84	99	30	26	4	4 608	1 869	堺 市
△ 417	302	123	179	43	38	5	8 697	3 176	神 戸 市
879	124	55	69	21	11	10	2 995	1 020	岡 山 市 ²⁾
2 793	232	97	135	46	34	12	7 216	2 402	広 島 市
△ 1 594	278	87	191	28	21	7	5 476	2 171	北 九 州 市
4 888	376	142	234	56	44	12	10 071	3 184	福 岡 市

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（19大都市再掲）別

都 道 府 県	出 生 率 (人 口 千 対)	死 亡 率	乳 児 死 亡 率 (出 生 千 対)	新生児死亡率	自然増減率 (人 口 千 対)
全 国	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6
北 海 道	7.3	9.7	2.2	1.0	△ 2.4
青 森 県	6.9	11.2	3.5	1.8	△ 4.3
岩 手 県	7.4	11.5	3.5	1.9	△ 4.1
宮 城 県	8.2	9.0	2.0	1.1	△ 0.8
秋 田 県	6.4	12.7	2.4	0.7	△ 6.3
山 形 県	7.4	11.7	3.1	1.5	△ 4.3
福 島 県	8.0	10.6	2.9	1.0	△ 2.6
茨 城 県	8.3	9.5	2.2	0.9	△ 1.2
栃 木 県	8.6	9.5	2.5	1.5	△ 0.9
群 馬 県	8.3	9.9	2.7	1.8	△ 1.6
埼 玉 県	8.5	7.4	2.3	1.1	1.0
千 葉 県	8.6	7.9	2.6	1.4	0.7
東 京 都	8.5	7.8	2.3	1.1	0.7
神 奈 川 県	8.9	7.2	2.4	1.3	1.6
新 潟 県	7.6	10.6	2.0	0.9	△ 3.0
富 山 県	7.8	10.6	2.4	1.4	△ 2.8
石 川 県	8.5	9.7	1.9	0.8	△ 1.2
福 井 県	8.8	10.3	2.1	0.6	△ 1.4
山 梨 県	7.8	10.1	2.7	1.7	△ 2.3
長 野 県	8.1	10.4	2.2	1.3	△ 2.3
岐 阜 県	8.5	9.5	2.2	0.9	△ 1.0
静 岡 県	8.6	9.2	2.0	0.9	△ 0.6
愛 知 県	9.7	7.6	2.6	1.1	2.0
三 重 県	8.6	9.6	2.4	1.1	△ 1.1
滋 賀 県	9.5	8.0	2.4	1.3	1.5
京 都 府	8.2	9.0	2.1	1.1	△ 0.8
大 阪 府	8.7	8.5	2.3	1.1	0.2
兵 庫 県	8.6	8.9	2.0	1.0	△ 0.2
奈 良 県	7.7	8.7	4.0	2.0	△ 1.0
和 歌 山 県	7.5	11.7	2.4	1.5	△ 4.2
鳥 取 県	8.3	11.3	1.8	1.4	△ 3.0
島 根 県	7.8	12.4	2.0	1.1	△ 4.5
岡 山 県	8.5	9.8	2.2	1.1	△ 1.3
広 島 県	9.0	9.5	2.4	1.3	△ 0.5
山 口 県	7.8	11.8	2.4	1.1	△ 3.9
徳 島 県	7.5	11.1	3.1	2.2	△ 3.6
香 川 県	8.4	10.7	2.7	1.3	△ 2.3
愛 媛 県	8.1	11.0	2.5	1.0	△ 2.9
高 知 県	7.1	12.4	1.7	0.7	△ 5.3
福 岡 県	9.2	9.0	2.3	1.0	0.2
佐 賀 県	8.9	10.4	1.5	0.9	△ 1.5
長 崎 県	8.3	10.9	3.4	1.9	△ 2.6
熊 本 県	9.0	10.2	2.0	1.2	△ 1.3
大 分 県	8.4	10.6	2.7	1.5	△ 2.2
宮 崎 県	9.0	10.6	2.4	0.9	△ 1.6
鹿 児 島 県	8.8	11.4	2.1	0.9	△ 2.7
沖 縄 県	12.2	7.2	2.4	0.8	5.0
(再 掲)					
東京都区部	8.3	7.7	2.2	1.1	0.6
札幌市	7.6	7.6	2.3	1.0	0.0
仙台市	9.0	6.7	2.2	1.1	2.3
さいたま市	9.0	6.6	2.3	1.5	2.3
千葉市	8.4	6.9	2.5	0.8	1.4
横浜市	8.7	7.0	2.5	1.6	1.8
川崎市	10.1	6.2	2.2	1.5	3.9
新潟市	7.9	8.7	2.0	0.9	△ 0.8
静岡市	8.0	9.2	1.9	0.3	△ 1.1
浜松市	8.8	8.2	2.4	1.4	0.5
名古屋市	8.9	8.1	3.1	1.5	0.7
京都市	7.8	8.8	1.2	0.6	△ 1.0
大阪市	8.5	9.2	2.6	1.2	△ 0.6
堺市	9.0	8.1	1.6	0.9	0.9
神戸市	8.3	8.6	1.6	0.8	△ 0.3
岡山市 ³⁾	...	...	...	...	...
広島市	9.8	7.4	2.6	1.4	2.4
北九州市	8.6	10.2	2.3	1.0	△ 1.6
福岡市	9.8	6.4	2.4	1.0	3.4

注：1)死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。
2)周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。
3)岡山市は、平成21年4月1日から政令指定都市になったため率は算出していない。

死産率 ¹⁾	自然死産率 (出 産 千 対)	人工死産率	周産期死亡率 ²⁾ (出産千対)	婚 姻 率 (人 口 千 対)	離 婚 率	都 道 府 県
24.6	11.1	13.5	4.2	5.6	2.01	全 国
32.8	13.7	19.1	4.4	5.2	2.24	北 海 道
29.6	14.2	15.4	4.8	4.4	2.01	青 森 県
26.4	12.5	14.0	5.6	4.4	1.82	岩 手 県
27.1	11.2	15.9	3.9	5.3	1.95	宮 城 県
26.4	11.7	14.7	4.5	4.0	1.56	秋 田 県
27.6	11.6	16.0	4.2	4.5	1.66	山 形 県
28.2	14.3	13.9	4.9	4.8	1.97	福 島 県
25.3	10.8	14.5	3.9	5.2	1.93	茨 城 県
22.9	10.5	12.5	4.1	5.4	1.97	栃 木 県
25.3	11.8	13.5	5.0	5.1	1.95	群 馬 県
22.9	11.2	11.8	3.9	5.6	2.07	埼 玉 県
23.0	12.7	10.3	5.1	5.9	2.06	千 葉 県
22.7	10.2	12.5	3.9	7.2	2.13	東 京 都
22.1	12.0	10.1	4.8	6.2	2.02	神 奈 川 県
24.0	11.1	12.9	4.0	4.6	1.42	新 潟 県
23.8	12.5	11.2	5.1	4.6	1.57	富 山 県
20.6	12.3	8.3	3.8	5.1	1.61	石 川 県
22.9	9.2	13.7	2.8	5.0	1.66	福 井 県
24.9	11.0	13.8	4.4	5.0	1.94	山 梨 県
22.9	9.5	13.4	3.6	5.1	1.82	山 梨 県
20.2	10.5	9.7	4.7	5.1	1.73	岐 阜 県
22.4	10.8	11.6	3.4	5.6	1.99	静 岡 県
21.3	10.1	11.3	4.4	6.3	2.01	愛 知 県
21.2	9.8	11.4	3.4	5.3	1.89	三 重 県
21.7	11.9	9.8	4.0	5.6	1.79	滋 賀 県
20.1	8.7	11.4	3.6	5.3	1.96	京 都 府
24.6	10.5	14.1	3.9	6.0	2.40	大 阪 府
23.3	10.4	12.9	4.0	5.4	1.96	兵 庫 県
23.3	10.8	12.5	5.2	4.7	1.88	奈 良 県
24.8	9.9	14.9	5.2	4.7	2.03	和 歌 山 県
27.5	12.2	15.4	4.1	4.7	1.96	鳥 取 県
25.1	11.7	13.4	4.6	4.5	1.58	島 根 県
27.4	10.7	16.7	4.1	5.2	1.87	岡 山 県
22.2	9.5	12.7	4.4	5.6	1.94	広 島 県
26.2	11.5	14.6	4.1	4.9	1.87	山 口 県
23.3	10.4	12.9	3.9	4.7	1.93	徳 島 県
24.9	14.9	10.0	3.5	5.2	1.98	香 川 県
32.8	11.5	21.3	4.7	4.9	1.97	愛 媛 県
32.2	9.7	22.5	3.3	4.3	2.09	高 知 県
28.3	10.6	17.7	4.0	5.9	2.22	福 岡 県
23.4	9.2	14.2	3.2	4.9	1.75	佐 賀 県
29.4	12.8	16.6	4.3	4.8	1.80	長 崎 県
28.4	9.5	18.9	3.5	5.0	1.91	熊 本 県
27.5	10.9	16.6	4.6	5.2	2.00	大 分 県
33.4	11.5	21.9	3.6	5.3	2.21	宮 崎 県
30.3	12.5	17.8	4.0	5.0	1.95	鹿 児 島 県
33.5	14.5	19.0	4.8	6.5	2.60	沖 縄 県
						(再 掲)
23.6	10.5	13.1	4.0	7.7	2.18	東 京 都 区 部
31.3	11.7	19.6	4.1	5.9	2.41	札 幌 市
24.2	11.1	13.0	2.9	6.2	1.92	仙 台 市
20.2	8.8	11.4	3.9	6.1	1.88	さいたま市
23.0	13.1	9.9	5.0	5.7	2.06	千 葉 市
21.0	11.3	9.7	5.1	6.2	1.94	横 浜 市
20.7	12.4	8.3	5.4	7.6	1.92	川 崎 市
25.2	11.2	14.0	3.9	5.0	1.52	新 潟 市
26.3	12.9	13.4	3.1	5.3	1.85	静 岡 市
20.9	9.8	11.1	3.5	5.9	1.84	浜 松 市
21.6	9.7	11.9	4.3	6.6	2.20	名古屋市
20.6	8.1	12.5	3.4	5.6	2.02	京 都 市
27.0	10.9	16.0	3.3	7.1	2.75	大 阪 市
23.7	10.9	12.8	4.0	5.5	2.23	堺 市
23.2	9.4	13.7	3.4	5.7	2.07	神 戸 市
...	...	...	...	...	...	岡 山 市 ³⁾
19.9	8.3	11.6	4.0	6.2	2.05	広 島 市
32.0	10.0	22.0	3.3	5.6	2.21	北 九 州 市
25.8	9.8	16.1	3.9	6.9	2.19	福 岡 市

第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(19大都市再掲)別

都 道 府 県	全 死 因		02100 悪性新生物		09200 心 疾 患		09300 脳血管疾患		10200 肺 炎	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 国 ¹⁾	1 141 920	907.6	343 954	273.4	180 602	143.5	122 274	97.2	111 922	89.0
北 海 道	53 218	969.5	17 279	314.8	8 719	158.8	5 359	97.6	4 964	90.4
青 森 県	15 385	1 118.9	4 516	328.4	2 473	179.9	1 837	133.6	1 639	119.2
岩 手 県	15 411	1 154.4	4 265	319.5	2 637	197.5	2 165	162.2	1 518	113.7
宮 城 県	20 809	895.4	6 240	268.5	3 287	141.4	2 567	110.5	1 909	82.1
秋 田 県	13 866	1 268.6	4 007	366.6	2 148	196.5	1 714	156.8	1 478	135.2
山 形 県	13 728	1 170.3	3 848	328.0	2 181	185.9	1 796	153.1	1 491	127.1
福 島 県	21 568	1 062.5	6 044	297.7	3 860	190.1	2 661	131.1	2 011	99.1
茨 城 県	27 805	952.2	8 067	276.3	4 394	150.5	3 454	118.3	2 804	96.0
栃 木 県	18 777	949.8	5 255	265.8	3 166	160.1	2 391	120.9	1 884	95.3
群 馬 県	19 421	985.8	5 514	279.9	3 140	159.4	2 152	109.2	2 076	105.4
埼 玉 県	52 370	743.8	16 522	234.7	8 651	122.9	5 626	79.9	5 048	71.7
千 葉 県	47 812	789.0	14 691	242.4	8 333	137.5	5 032	83.0	4 594	75.8
東 京 都	98 295	780.4	31 246	248.1	15 320	121.6	10 059	79.9	9 074	72.0
神 奈 川 県	63 750	723.2	20 539	233.0	9 621	109.1	6 599	74.9	5 707	64.7
新 潟 県	25 147	1 062.4	7 639	322.7	3 808	160.9	3 214	135.8	2 334	98.6
富 山 県	11 480	1 061.0	3 347	309.3	1 566	144.7	1 424	131.6	1 246	115.2
石 川 県	11 245	972.8	3 388	293.1	1 752	151.6	1 205	104.2	1 131	97.8
福 井 県	8 187	1 025.9	2 343	293.6	1 391	174.3	876	109.8	985	123.4
山 梨 県	8 587	1 006.7	2 327	272.8	1 347	157.9	986	115.6	744	87.2
長 野 県	22 132	1 041.0	5 911	278.0	3 455	162.5	3 075	144.6	1 917	90.2
岐 阜 県	19 402	949.2	5 709	279.3	3 140	153.6	2 052	100.4	1 765	86.4
静 岡 県	34 255	924.6	9 774	263.8	5 132	138.5	4 163	112.4	2 936	79.2
愛 知 県	55 186	764.3	16 883	233.8	8 042	111.4	5 544	76.8	5 034	69.7
三 重 県	17 591	964.9	4 858	266.5	2 713	148.8	1 877	103.0	1 698	93.1
滋 賀 県	11 036	800.9	3 357	243.6	1 834	133.1	1 158	84.0	1 013	73.5
京 都 府	23 189	898.5	7 244	280.7	3 982	154.3	2 120	82.1	2 221	86.1
大 阪 府	73 137	846.7	24 150	279.6	11 710	135.6	6 167	71.4	7 592	87.9
兵 庫 県	48 864	888.0	15 587	283.2	7 518	136.6	4 476	81.3	4 544	82.6
奈 良 県	12 138	872.6	3 744	269.2	2 205	158.5	1 158	83.2	1 268	91.2
和 歌 山 県	11 735	1 173.5	3 383	338.3	1 983	198.3	1 059	105.9	1 159	115.9
鳥 取 県	6 636	1 130.5	1 928	328.4	1 078	183.6	716	122.0	614	104.6
島 根 県	8 854	1 238.3	2 480	346.9	1 421	198.7	973	136.1	854	119.4
岡 山 県	18 948	984.8	5 290	274.9	2 849	148.1	2 137	111.1	2 229	115.9
広 島 県	26 992	953.4	7 745	273.6	4 429	156.4	2 775	98.0	2 777	98.1
山 口 県	16 996	1 177.0	4 759	329.6	2 804	194.2	1 927	133.4	1 914	132.5
徳 島 県	8 720	1 110.8	2 442	311.1	1 346	171.5	910	115.9	927	118.1
香 川 県	10 639	1 072.5	2 851	287.4	1 882	189.7	1 024	103.2	1 201	121.1
愛 媛 県	15 669	1 096.5	4 336	303.4	2 941	205.8	1 664	116.4	1 569	109.8
高 知 県	9 437	1 235.2	2 559	334.9	1 584	207.3	1 119	146.5	1 053	137.8
福 岡 県	44 879	895.1	14 310	285.4	5 582	111.3	4 403	87.8	4 654	92.8
佐 賀 県	8 831	1 040.2	2 668	314.3	1 255	147.8	1 011	119.1	986	116.1
長 崎 県	15 491	1 087.9	4 672	328.1	2 401	168.6	1 581	111.0	1 715	120.4
熊 本 県	18 507	1 024.8	5 227	289.4	2 889	160.0	1 972	109.2	1 825	101.1
大 分 県	12 528	1 055.4	3 530	297.4	1 891	159.3	1 319	111.1	1 323	111.5
宮 崎 県	11 959	1 059.3	3 339	295.7	2 050	181.6	1 383	122.5	1 230	108.9
鹿 児 島 県	19 498	1 144.9	5 257	308.7	3 059	179.6	2 402	141.0	2 225	130.7
沖 縄 県	9 925	721.8	2 638	191.9	1 434	104.3	847	61.6	944	68.7
外 国	184	・	34	・	25	・	14	・	5	・
(再 掲)										
東京都区部	67 544	767.4	21 507	244.3	10 471	119.0	6 786	77.1	6 084	69.1
札幌市	14 506	761.9	4 978	261.4	2 135	112.1	1 333	70.0	1 222	64.2
仙台市	6 894	666.7	2 173	210.2	1 062	102.7	753	72.8	554	53.6
さいたま市	8 037	663.1	2 510	207.1	1 376	113.5	828	68.3	730	60.2
千葉市	6 636	694.9	2 170	227.2	1 026	107.4	667	69.8	623	65.2
横浜市	25 546	695.7	8 360	227.7	3 794	103.3	2 499	68.1	2 277	62.0
川崎市	8 783	622.9	2 883	204.5	1 303	92.4	920	65.2	762	54.0
新潟市	7 055	868.8	2 321	285.8	1 058	130.3	872	107.4	623	76.7
静岡市	6 564	915.5	1 951	272.1	1 007	140.4	761	106.1	555	77.4
浜松市	6 672	822.7	1 811	223.3	842	103.8	916	112.9	582	71.8
名古屋市	18 333	811.9	5 748	254.6	2 714	120.2	1 766	78.2	1 689	74.8
京都市	12 860	877.2	4 048	276.1	2 179	148.6	1 191	81.2	1 236	84.3
大阪市	24 433	917.8	7 788	292.6	3 544	133.1	2 130	80.0	2 587	97.2
堺 市	6 797	811.1	2 279	272.0	1 141	136.2	604	72.1	661	78.9
神戸市	13 147	855.4	4 298	279.6	1 930	125.6	1 126	73.3	1 172	76.3
岡山市 ²⁾	4 096	…	1 271	…	613	…	436	…	391	…
広島市	8 642	738.0	2 578	220.2	1 405	120.0	859	73.4	833	71.1
北九州市	10 009	1 018.2	3 256	331.2	1 322	134.5	1 058	107.6	937	95.3
福岡市	9 289	640.2	3 057	210.7	1 043	71.9	797	54.9	941	64.9

注：1)全国値には、住所地不詳を含む。

2)岡山市は平成21年4月1日から政令指定都市となったため、4月分からの累計である。なお、死亡率は算出してない。

18100 老 衰		20100 不慮の事故		20200 自 殺		14200 腎 不 全		11300 肝 疾 患		10400 慢性閉塞性肺疾患		都 道 府 県
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
38 649	30.7	37 583	29.9	30 649	24.4	22 724	18.1	15 937	12.7	15 339	12.2	全 国 ¹⁾
1 074	19.6	1 541	28.1	1 435	26.1	1 389	25.3	657	12.0	661	12.0	北 海 道
511	37.2	470	34.2	475	34.5	391	28.4	221	16.1	135	9.8	青 森
501	37.5	538	40.3	459	34.4	304	22.8	170	12.7	179	13.4	岩 手
864	37.2	726	31.2	576	24.8	411	17.7	221	9.5	261	11.2	宮 城
396	36.2	578	52.9	416	38.1	304	27.8	159	14.5	131	12.0	秋 田
591	50.4	446	38.0	319	27.2	297	25.3	145	12.4	195	16.6	山 形
804	39.6	757	37.3	590	29.1	391	19.3	250	12.3	316	15.6	福 島
1 068	36.6	1 028	35.2	727	24.9	521	17.8	382	13.1	355	12.2	茨 城
722	36.5	582	29.4	548	27.7	344	17.4	259	13.1	223	11.3	栃 木
621	31.5	619	31.4	538	27.3	370	18.8	244	12.4	302	15.3	群 馬
1 412	20.1	1 510	21.4	1 714	24.3	975	13.8	802	11.4	646	9.2	埼 玉
1 662	27.4	1 447	23.9	1 320	21.8	811	13.4	666	11.0	543	9.0	千 葉
3 036	24.1	2 396	19.0	2 847	22.6	1 730	13.7	1 653	13.1	1 306	10.4	東 京
2 195	24.9	2 191	24.9	1 907	21.6	963	10.9	1 171	13.3	841	9.5	神 奈 川
998	42.2	925	39.1	711	30.0	459	19.4	225	9.5	316	13.4	新 潟
420	38.8	480	44.4	293	27.1	246	22.7	129	11.9	142	13.1	富 山
436	37.7	417	36.1	253	21.9	213	18.4	137	11.9	148	12.8	石 川
251	31.5	321	40.2	191	23.9	182	22.8	72	9.0	103	12.9	福 井
446	52.3	297	34.8	222	26.0	169	19.8	114	13.4	129	15.1	山 梨
1 212	57.0	764	35.9	527	24.8	380	17.9	239	11.2	295	13.9	長 野
858	42.0	752	36.8	470	23.0	354	17.3	197	9.6	291	14.2	岐 阜
1 822	49.2	1 199	32.4	804	21.7	695	18.8	424	11.4	452	12.2	静 岡
2 060	28.5	1 893	26.2	1 510	20.9	985	13.6	719	10.0	621	8.6	愛 知
991	54.4	673	36.9	424	23.3	370	20.3	190	10.4	271	14.9	三 重
381	27.6	395	28.7	279	20.2	199	14.4	124	9.0	179	13.0	滋 賀
693	26.9	552	21.4	571	22.1	503	19.5	293	11.4	396	15.3	京 都
1 490	17.2	2 055	23.8	2 069	24.0	1 553	18.0	1 334	15.4	1 011	11.7	大 阪
1 660	30.2	1 708	31.0	1 237	22.5	1 061	19.3	785	14.3	665	12.1	兵 庫
385	27.7	369	26.5	272	19.6	217	15.6	174	12.5	172	12.4	奈 良
555	55.5	400	40.0	257	25.7	246	24.6	165	16.5	188	18.8	和 歌 山
307	52.3	228	38.8	150	25.6	116	19.8	104	17.7	81	13.8	鳥 取
416	58.2	284	39.7	221	30.9	169	23.6	108	15.1	113	15.8	島 根
720	37.4	745	38.7	399	20.7	400	20.8	244	12.7	289	15.0	岡 山
992	35.0	925	32.7	667	23.6	608	21.5	385	13.6	351	12.4	広 島
607	42.0	540	37.4	410	28.4	335	23.2	226	15.7	250	17.3	山 口
351	44.7	330	42.0	166	21.1	179	22.8	127	16.2	140	17.8	徳 島
379	38.2	407	41.0	205	20.7	261	26.3	138	13.9	180	18.1	香 川
663	46.4	583	40.8	332	23.2	329	23.0	212	14.8	175	12.2	愛 媛
267	34.9	401	52.5	232	30.4	236	30.9	124	16.2	134	17.5	高 知
989	19.7	1 626	32.4	1 185	23.6	914	18.2	616	12.3	608	12.1	福 岡
229	27.0	309	36.4	226	26.6	141	16.6	125	14.7	117	13.8	佐 賀
461	32.4	584	41.0	329	23.1	329	23.1	195	13.7	246	17.3	長 崎
618	34.2	596	33.0	451	25.0	468	25.9	227	12.6	279	15.4	熊 本
423	35.6	449	37.8	295	24.9	284	23.9	142	12.0	207	17.4	大 分
358	31.7	414	36.7	336	29.8	251	22.2	133	11.8	174	15.4	宮 崎
526	30.9	673	39.5	414	24.3	446	26.2	218	12.8	291	17.1	鹿 児 島
222	16.1	326	23.7	383	27.9	210	15.3	257	18.7	222	16.1	沖 縄
2	・	10	・	15	・	-	・	-	・	2	・	外 国
2 037	23.1	1 711	19.4	1 993	22.6	1 237	14.1	1 209	13.7	939	10.7	(再 掲) 東京都区部
231	12.1	385	20.2	417	21.9	356	18.7	200	10.5	172	9.0	札 幌 市
260	25.1	232	22.4	259	25.0	138	13.3	78	7.5	74	7.2	仙 台 市
199	16.4	226	18.6	281	23.2	123	10.1	134	11.1	80	6.6	さいたま市
182	19.1	188	19.7	160	16.8	115	12.0	107	11.2	73	7.6	千 葉 市
896	24.4	948	25.8	762	20.8	389	10.6	514	14.0	318	8.7	横 浜 市
242	17.2	315	22.3	315	22.3	138	9.8	179	12.7	112	7.9	川 崎 市
225	27.7	243	29.9	233	28.7	146	18.0	63	7.8	66	8.1	新 潟 市
314	43.8	230	32.1	141	19.7	119	16.6	84	11.7	90	12.6	静 岡 市
396	48.8	210	25.9	164	20.2	167	20.6	84	10.4	84	10.4	浜 松 市
506	22.4	566	25.1	492	21.8	323	14.3	243	10.8	222	9.8	名古屋市
367	25.0	259	17.7	315	21.5	273	18.6	176	12.0	214	14.6	京 都 市
495	18.6	731	27.5	685	25.7	573	21.5	513	19.3	363	13.6	大 阪 市
135	16.1	191	22.8	185	22.1	131	15.6	118	14.1	107	12.8	堺 市
396	25.8	444	28.9	349	22.7	260	16.9	214	13.9	175	11.4	神 戸 市
141	…	148	…	100	…	74	…	51	…	61	…	岡 山 市 ²⁾
275	23.5	256	21.9	252	21.5	180	15.4	135	11.5	101	8.6	広 島 市
172	17.5	344	35.0	264	26.9	204	20.8	148	15.1	147	15.0	北九州市
159	11.0	327	22.5	307	21.2	171	11.8	145	10.0	120	8.3	福 岡 市

参 考

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。

A 「期間」 合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その時点における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

どの年齢の女性の人数も同じとして算定される出生率なので、女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B 「コーホート」 合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、それに相当するものとして一般に用いられているのはAの期間合計特殊出生率である。

これは、各年齢の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になるからである。

- 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1970～1974年生まれ（平成21年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.39であり、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

平成21年の期間合計特殊出生率は、現在、晩産化の進行中であり、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計であって、「実際に1人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和54年 (1979)	59年 (1984)	平成元年 (1989)	6年 (1994)	11年 (1999)	16年 (2004)	平成21年 (2009)
母の年齢	1.77	1.81	1.57	1.50	1.34	1.29	1.37
15～19歳	0.0177	0.0233	0.0182	0.0189	0.0242	0.0275	0.0249
20～24	0.3993	0.3418	0.2437	0.2144	0.1904	0.1859	0.1779
25～29	0.9314	0.9229	0.7342	0.6333	0.5012	0.4388	0.4320
30～34	0.3469	0.4325	0.4619	0.4882	0.4583	0.4364	0.4756
35～39	0.0653	0.0812	0.1029	0.1307	0.1501	0.1755	0.2217
40～44	0.0084	0.0091	0.0106	0.0142	0.0177	0.0239	0.0354
45～49	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0006	0.0009

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1960-1964	1965-1969	1970-1974	1975-1979	1980-1984	1985-1989	1990-1994
母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.0177	0.0233	0.0182	0.0189	0.0242	0.0275	0.0249
20～24	0.3418	0.2437	0.2144	0.1904	0.1859	0.1779	
25～29	0.7342	0.6333	0.5012	0.4388	0.4320		
30～34	0.4882	0.4583	0.4364	0.4756			
35～39	0.1501	0.1755	0.2217				
40～44	0.0239	0.0354					
45～49	0.0009						
コホート 合計特殊出生率	1.76	1.57	1.39	1.12	0.64	0.21	0.02

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1960-1964	1965-1969	1970-1974	1975-1979	1980-1984	1985-1989	1990-1994
母の年齢	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
15～24	0.36	0.27	0.23	0.21	0.21	0.21	
15～29	1.09	0.90	0.73	0.65	0.64		
15～34	1.58	1.36	1.17	1.12			
15～39	1.73	1.53	1.39				
15～44	1.76	1.57					
15～49	1.76						

*「15～19歳の世代」は、平成2～6年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和60年～平成元年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和55～59年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和50～54年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和45～49年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和40～44年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和35～39年生まれ。

3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は次の3つの要素に分解できるので、その動向は、「(期間)合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口(15～49歳)」と「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の動向にもよる。各要素の動向は次頁のとおりである。

$$\text{出生数} = \underbrace{\text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^*}}_{\substack{\text{(15～49歳のどの年齢の女性の人数} \\ \text{も同じとした場合に見込まれる出生数)}}} \times \text{(15～49歳女性人口の)} \\ \text{年齢構成の違い} \quad \uparrow \\ \text{(出生数} \div \text{見込まれる出生数)}$$

* (期間) 合計特殊出生率は 15～49 歳までの 35 個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口(15～49 歳)を乗じて出生数となるよう 35 で除している。

平成20年	109.1万人	=	2,676万人	×	$\frac{1.37}{35}$	×	1.044
	↓ △1.9%		↓ △0.8%		↓ 0.1%		↓ △1.2%
平成21年	107万人	=	2,653万人	×	$\frac{1.37}{35}$	×	1.032

※平成21年の合計特殊出生率が平成20年と同じだった場合、平成21年の出生数は前年より△2.0%であったと見込まれる。

(説明)

- (1) その年の女性の年齢別出生率の合計である「(期間)合計特殊出生率」は、「その年の女性人口(15～49歳)について、仮にどの年齢の女性の人数も同じとした場合のその年の出生率」である。

このため、「女性人口(15～49歳)」に「(期間)合計特殊出生率/35」を乗じたものは、「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」となる。

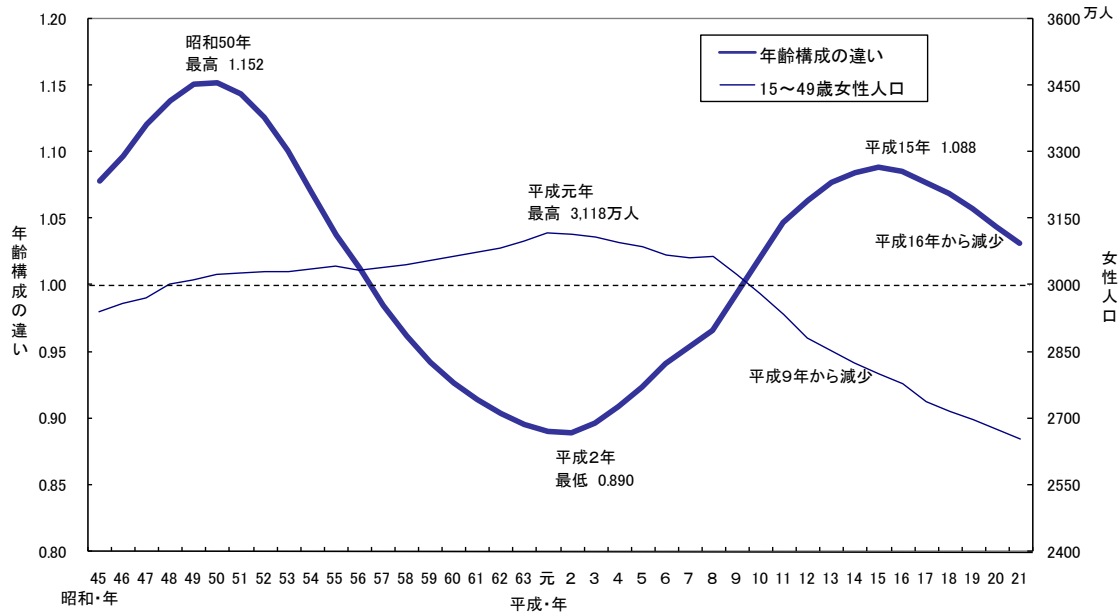
- (2) 「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」とは、「その年の女性の人数が年齢により異なっている状況(年齢構成)が、どの年齢の女性の人数も同じという状況(年齢構成)とどのくらい違うかを表すもの」である。

どの年齢の女性の人数も同じ場合には1となり、概ね、出生率の高い年齢の女性の人数が他の年齢より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

- (3) 「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」が変わらない場合には、出生数は「(期間)合計特殊出生率」が高ければ多く、低ければ少なくなる。

また、「女性人口(15～49歳)」と「(期間)合計特殊出生率」が変わらない場合には、出生数は、「年齢構成の違い」が1より大きければ見込まれる出生数より多く、1より小さければ見込まれる出生数より少ない。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出 生 数	15～49歳 女性人口	合計特殊 出 生 率	年齢構成 の 違 い	出 生 数	15～49歳 女性人口	合計特殊 出 生 率	年齢構成 の 違 い
	①×②/35×③	(千人) ①	②	③		(千人) ①	②	③
昭和 45 年	1 934 239	29 400	2.13	1.079	...	...	...	...
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元 年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
21	1 070 025	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年
3) 「15～49歳女性人口」の転換年は平成9年

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)	死亡率	乳児死亡率 (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率
日本	'09) 8.5	'09) 9.1	'09) 2.4	'09) 5.6	'09) 2.01	'09) 1.37
韓国	'09) 9.0	'08) 5.0	…	'09) 6.2	'08) 2.4	'09) 1.15
シンガポール	'08) 10.2	'08) 4.4	'08) 2.1	'08) 6.5	'08) 2.0	'08) 1.28
アメリカ	'08) *13.9	'08) *8.1	'08) *6.5	'08) *7.1	'08) *3.5	'08) *2.09
フランス	'09) *12.7	'09) *8.5	'09) *3.6	'09) *4.0	'06) 2.22	'09) *1.99
ドイツ	'07) 8.3	'07) 10.1	'07) 3.9	'07) 4.5	'07) 2.27	'07) 1.37
イタリア	'07) 9.5	'07) *9.7	'07) *3.7	'07) *4.2	'06) 0.84	'07) 1.37
スウェーデン	'07) 11.7	'07) 10.0	'07) 2.5	'07) 5.2	'07) 2.26	'07) 1.88
イギリス	'07) 12.7	'06) *9.4	'06) *5.0	'03) 5.1	'07) *2.37	'07) 1.9

注：*印は暫定値である。

資料：(1) 日本は、人口動態統計月報年計（概数）の概況

(2) 韓国は、韓国統計庁資料

(3) シンガポールは、シンガポール統計局資料

(4) アメリカは、NCHS, National Vital Statistics Reports

(5) フランスは、フランス国立統計経済研究所資料

(6) ヨーロッパの各国は、UN, Demographic Yearbook 2007

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総数	125 820 000 人	61 339 000 人	64 481 000 人
0 ～ 4 歳	5 323 000	2 729 000	2 594 000
5 ～ 9	5 639 000	2 891 000	2 748 000
10 ～ 14	5 902 000	3 023 000	2 879 000
15 ～ 19	6 001 000	3 076 000	2 924 000
20 ～ 24	6 677 000	3 438 000	3 239 000
25 ～ 29	7 272 000	3 718 000	3 553 000
30 ～ 34	8 394 000	4 269 000	4 126 000
35 ～ 39	9 535 000	4 838 000	4 697 000
40 ～ 44	8 424 000	4 257 000	4 167 000
45 ～ 49	7 703 000	3 878 000	3 825 000
50 ～ 54	7 651 000	3 823 000	3 828 000
55 ～ 59	9 061 000	4 482 000	4 579 000
60 ～ 64	9 356 000	4 574 000	4 782 000
65 ～ 69	8 342 000	3 984 000	4 357 000
70 ～ 74	6 879 000	3 184 000	3 695 000
75 ～ 79	5 791 000	2 518 000	3 274 000
80 ～ 84	4 221 000	1 648 000	2 573 000
85 ～ 89	2 323 000	704 000	1 619 000
90 ～ 94	966 000	237 000	729 000
95 ～ 99	312 000	60 000	252 000
100 ～	48 000	7 000	41 000

資料：「平成21年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総 数	男	女
全 国	125 820 000	61 339 000	64 481 000
北海道	5 489 000	2 592 000	2 897 000
青森	1 375 000	646 000	729 000
岩手	1 335 000	637 000	698 000
宮城	2 324 000	1 128 000	1 197 000
秋田	1 093 000	514 000	579 000
山形	1 173 000	564 000	609 000
福島	2 030 000	986 000	1 044 000
茨城	2 920 000	1 454 000	1 466 000
栃木	1 977 000	983 000	993 000
群馬	1 970 000	969 000	1 001 000
埼玉	7 041 000	3 546 000	3 495 000
千葉	6 060 000	3 032 000	3 028 000
東京	12 596 000	6 273 000	6 322 000
神奈川	8 815 000	4 447 000	4 369 000
新潟	2 367 000	1 145 000	1 222 000
富山	1 082 000	521 000	561 000
石川	1 156 000	558 000	598 000
福井	798 000	386 000	411 000
山梨	853 000	418 000	435 000
長野	2 126 000	1 035 000	1 091 000
岐阜	2 044 000	991 000	1 053 000
静岡	3 705 000	1 825 000	1 880 000
愛知	7 220 000	3 628 000	3 591 000
三重	1 823 000	887 000	936 000
滋賀	1 378 000	681 000	697 000
京都	2 581 000	1 238 000	1 343 000
大阪	8 638 000	4 180 000	4 457 000
兵庫	5 503 000	2 633 000	2 870 000
奈良	1 391 000	659 000	731 000
和歌山	1 000 000	470 000	530 000
鳥取	587 000	281 000	307 000
島根	715 000	341 000	374 000
岡山	1 924 000	923 000	1 001 000
広島	2 831 000	1 368 000	1 463 000
山口	1 444 000	680 000	763 000
徳島	785 000	373 000	412 000
香川	992 000	476 000	516 000
愛媛	1 429 000	672 000	757 000
高知	764 000	358 000	406 000
福岡	5 014 000	2 371 000	2 643 000
佐賀	849 000	399 000	450 000
長崎	1 424 000	664 000	760 000
熊本	1 806 000	849 000	957 000
大分	1 187 000	560 000	628 000
宮崎	1 129 000	530 000	599 000
鹿児島	1 703 000	795 000	908 000
沖縄	1 375 000	673 000	702 000

資料：「平成21年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

19大都市・男女別人口（総人口）

19大都市 (再掲)	総 数	男	女
東京都区部	8 802 000	4 364 000	4 438 000
札幌市	1 904 000	892 000	1 012 000
仙台市	1 034 000	502 000	532 000
さいたま市	1 212 000	608 000	605 000
千葉市	955 000	477 000	478 000
横浜市	3 672 000	1 843 000	1 829 000
川崎市	1 410 000	727 000	683 000
新潟市	812 000	391 000	421 000
静岡市	717 000	349 000	369 000
浜松市	811 000	404 000	407 000
名古屋	2 258 000	1 122 000	1 136 000
京都市	1 466 000	697 000	769 000
大阪市	2 662 000	1 298 000	1 364 000
堺市	838 000	403 000	435 000
神戸市	1 537 000	728 000	809 000
岡山市	704 000	338 000	366 000
広島市	1 171 000	567 000	604 000
北九州市	983 000	461 000	521 000
福岡市	1 451 000	694 000	756 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成21年10月1日現在の総人口である。

(付表)
年齢調整死亡率の算出に用いた人口
基準人口（昭和60年モデル人口）

年 齢 階 級	基 準 人 口	年 齢 階 級	基 準 人 口
0 ～ 4 歳	8 180 000	50 ～ 54歳	7 616 000
5 ～ 9	8 338 000	55 ～ 59	6 581 000
10 ～ 14	8 497 000	60 ～ 64	5 546 000
15 ～ 19	8 655 000	65 ～ 69	4 511 000
20 ～ 24	8 814 000	70 ～ 74	3 476 000
25 ～ 29	8 972 000	75 ～ 79	2 441 000
30 ～ 34	9 130 000	80 ～ 84	1 406 000
35 ～ 39	9 289 000	85歳以上	784 000
40 ～ 44	9 400 000		
45 ～ 49	8 651 000	総 数	120 287 000

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年 齢 階 級	平成21年	平成20年	対 前 年 増 減
	人	人	人
総 数	125 820 000	125 947 000	△ 127 000
0 ～ 4 歳	5 323 000	5 347 000	△ 24 000
5 ～ 9	5 639 000	5 736 000	△ 97 000
10 ～ 14	5 902 000	5 935 000	△ 33 000
15 ～ 19	6 001 000	6 074 000	△ 73 000
20 ～ 24	6 677 000	6 870 000	△ 193 000
25 ～ 29	7 272 000	7 379 000	△ 107 000
30 ～ 34	8 394 000	8 788 000	△ 394 000
35 ～ 39	9 535 000	9 419 000	116 000
40 ～ 44	8 424 000	8 248 000	176 000
45 ～ 49	7 703 000	7 660 000	43 000
50 ～ 54	7 651 000	7 731 000	△ 80 000
55 ～ 59	9 061 000	9 764 000	△ 703 000
60 ～ 64	9 356 000	8 902 000	454 000
65 ～ 69	8 342 000	7 999 000	343 000
70 ～ 74	6 879 000	6 927 000	△ 48 000
75 ～ 79	5 791 000	5 685 000	106 000
80 ～ 84	4 221 000	4 044 000	177 000
85 ～ 89	2 323 000	2 165 000	158 000
90 ～ 94	966 000	951 000	15 000
95 ～ 99	312 000	285 000	27 000
100 ～	48 000	41 000	7 000

資料：各年「10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女性人口）の対前年比較

年 齢 階 級	平成21年	平成20年	対 前 年 増 減
	人	人	人
15 ～ 19 歳	2 924 000	2 959 000	△ 35 000
20 ～ 24	3 239 000	3 334 000	△ 95 000
25 ～ 29	3 553 000	3 612 000	△ 59 000
30 ～ 34	4 126 000	4 321 000	△ 195 000
35 ～ 39	4 697 000	4 644 000	53 000
40 ～ 44	4 167 000	4 080 000	87 000
45 ～ 49	3 825 000	3 807 000	18 000
計	26 531 000	26 757 000	△ 226 000

資料：各年「10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

○本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。